

平成23年4月1日

会 員 各 位

社 団 法 人 日 本 人 材 派 遣 協 会
会 長 坂 本 仁 司
派 遣 労 働 者 支 援 委 員 会
委 員 長 増 山 律 子

派遣スタッフWebアンケート - 1万人調査 - (調査結果の概要)

派遣労働者支援委員会において、派遣スタッフを対象にアンケートを行い、派遣で働く人達の就業条件、満足度や希望する働き方等の実情の調査を昨年に引き続き実施いたしました。派遣で働く人達の派遣就労の実態や意識について、派遣スタッフから直接収集し、経年変化を見ることにより、協会の諸活動の貴重なバックデ - タとします。調査結果については、派遣業界の実態を理解していただき、派遣に対する認識を高めていただくために、社会一般にWEBにて公表していきます。その上で、派遣スタッフの社会的地位の向上や派遣業界の今後の課題等について、具体的に検討し、効果的な事業に関して業界全体で取り組んでいきます。この度、その結果がまとまりましたので、以下ご報告いたします。

グラフ数値は、小数点以下第二位を四捨五入し、第一位までを表章しているため、総数と内訳の合計は必ずしも一致しません。

報告の中で、「事務・販売系」、「製造・軽作業系」と表記していますが、18ページのQ3「現在(または直近)の業務」で分類したカテゴリーで「製造・軽作業系」だけを取り出したものを「製造・軽作業系」とし、それ以外を「事務・販売系」と表現いたしました。

アンケート調査実施要領

1. 実施期間：平成22年11月1日(月)～12月7日(火)
2. 協力依頼：当協会会員(合計669社11月1日時点)
3. 調査対象：現在派遣で働いている方及び派遣で働いた経験のある方
4. 告知方法：会員からの派遣スタッフへの依頼、協会HP及びはけんけんぼメルマガを活用
5. 実施方法：協会HP上のアンケートページに直接入力し、Web送信により回答
6. 回収総数：10,588
7. 有効回答：10,210 (96.4%)

平成23年4月

社団法人 日本人材派遣協会

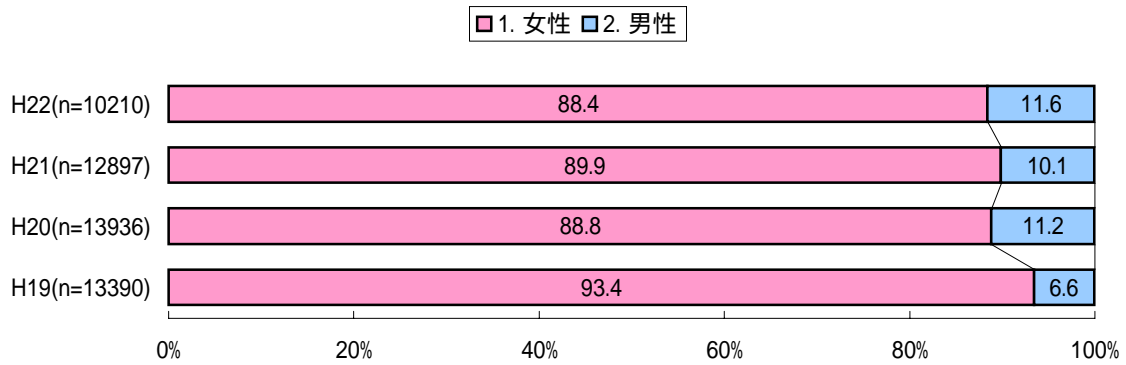
- 目次 -

Q1. あなたご自身について	P1
(1) 性別	P1
(2) 年齢	P3
(3) 家族	P5
Q2. 就業経験・状況	P6
(1) 派遣以外の労働経験の有無	P6
(2) 派遣を選んだ理由	P8
(3) 派遣登録社数	P10
(4) 通算派遣期間	P10
(5) 派遣就業先数	P11
(6) 労働状況	P11
(7) 就業先都道府県	P12
(8) 契約期間	P14
(9) 通算就業期間(同一派遣先)	P15
Q3. 現在(または直近)の業務	P18
(1) 業務の種類	P18
(2) 業務内容の差異	P20
Q4. 現在(または直近)の派遣での賃金及び労働時間等	P21
(1) 賃金形態(時給、日給、月給、年俸制)	P21
(2) 賃金額(時給、日給、月給、年俸制)	P22
(3) 昇給の有無	P29
(4) 勤務状況(平均勤務時間、平均勤務日数、実働月数)	P30
(5) 通勤手当	P32
(6) 雇用保険	P33
(7) 健康保険	P34
(8) 公的年金	P34
(9) 家計の主たる担い手	P35
Q5. 能力開発・キャリア形成	P36
(1) 所有資格	P36
(2) 教育訓練経験	P36
(3) 能力開発・キャリア形成の希望の有無	P39
(4) 派遣就労したことでのスキルアップ	P40
Q6. 派遣法に関すること	P42
(1) 26業務と26業務以外の業務の認知	P42
(2) 26業務の派遣就労期間無制限の認知	P42
(3) 26業務以外の派遣就労期間制限の認知	P43
(4) 混在業務の派遣就労期間の違いの認知	P43
(5) 派遣就労期間制限の考え方	P44
(6) 派遣法改正案の賛否	P45
Q7. 仕事と生活のバランス	P46
(1) 仕事と生活の重視バランス	P46
(2) 仕事と生活のバランスの取りやすさ	P47
Q8. 派遣で働いていることへの満足度	P48
Q9. 派遣に対するイメージについて	P50
(1) 派遣という働き方のイメージ	P50
(2) 派遣の社会的地位の向上方策	P51
Q10. 今後の希望する働き方について	P52
(1) 今後の働き方の希望	P52

Q. 1 あなたご自身について

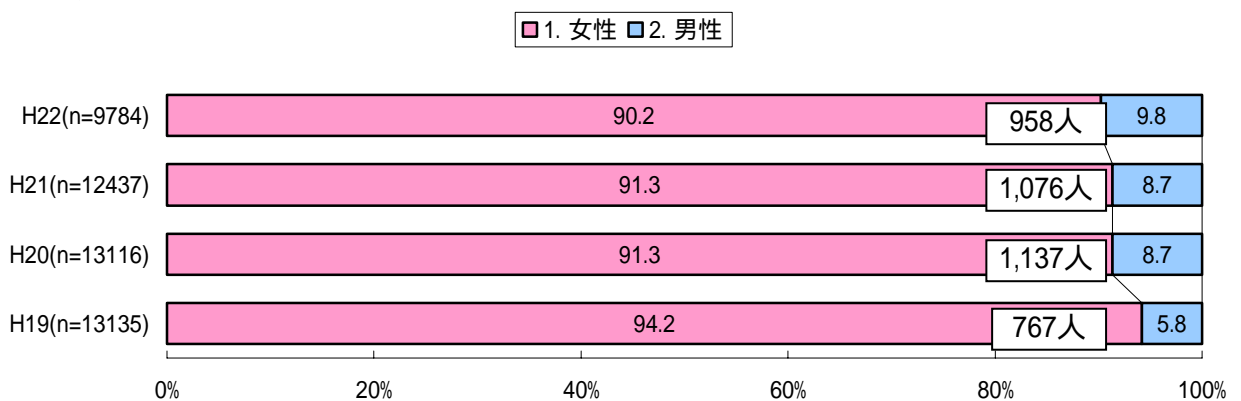
(1) 性別

「女性」が88.4%と大多数を占め、「男性」が11.6%となっている。
前年度と比べると、男性の割合が増えている。

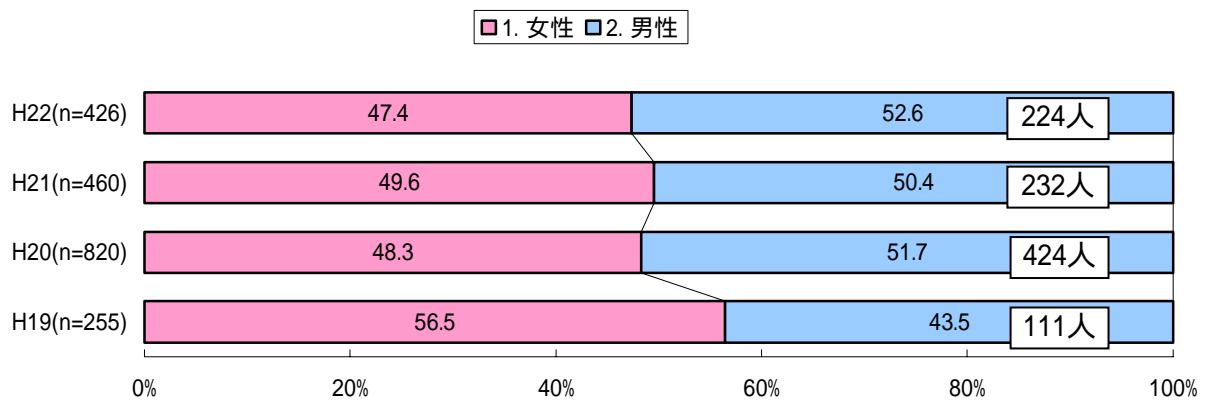


性別の状況を「事務・販売系」と「製造・軽作業系」別にみると、前年度と比べ、男性の割合が「事務・販売系」は（8.7%→9.8%[1.1%増]）、「製造・軽作業系」は、（50.4%→52.6%[2.2%増]）となっている。

事務・販売系（性別）



製造・軽作業系（性別）

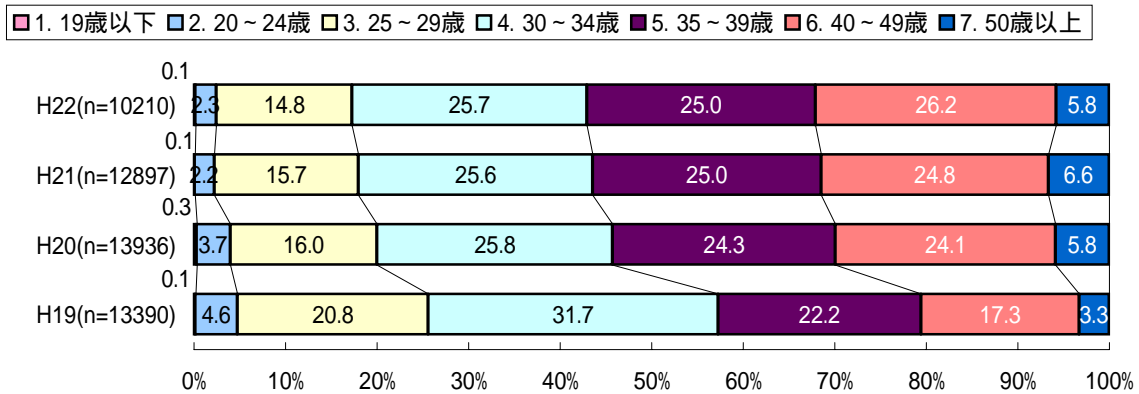


(2) 年齢

年齢構成は、「24歳以下」(2.5%)、「25～29歳」(14.8%)、「30～34歳」(25.7%)、「35～39歳」(25.0%)、「40歳以上」(32.1%)となっている。

年代別は、「30歳代」の割合が50.6%を占め、「40歳代」の割合を大幅に上回っている。平均年齢は36.8歳で、前年度の平均と同様であった。

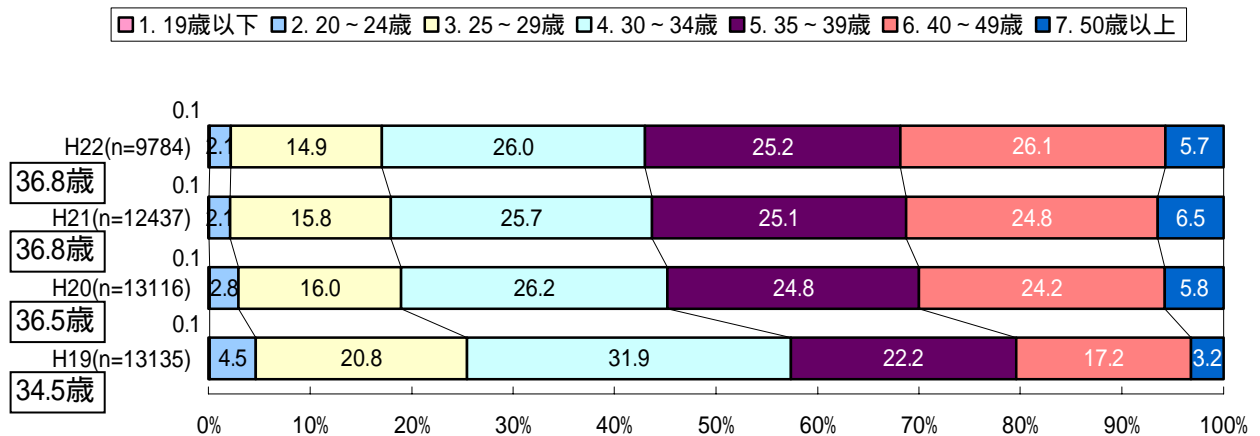
これを性別で見ると、男女ともに「30歳代」の占める割合が最も高く、男性は「50歳以上」の占める割合では女性を大きく上回っている。



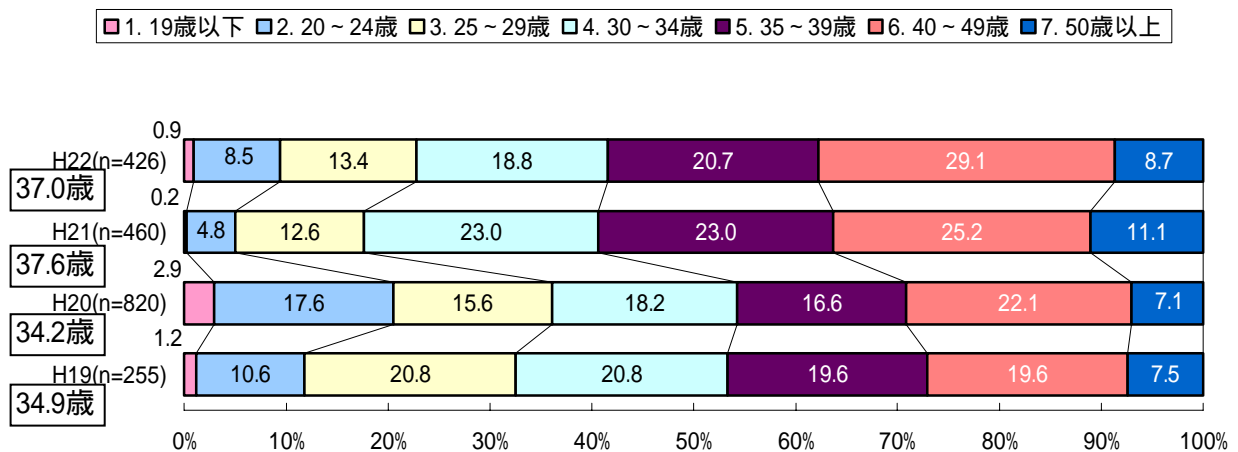
	調査数 (n)	全体	19歳以下	20歳代	30歳代	40歳代	50歳以上
全体	10,210	100.0	0.1	17.1	50.6	26.2	5.8
女性	9,028	100.0	0.1	17.1	52.4	26.5	3.9
男性	1,182	100.0	0.4	17.4	37.3	24.5	20.3

年齢の状況を「事務・販売系」と「製造・軽作業系」別で見ると、「事務・販売系」は変化がないが、「製造・軽作業系」では若年層（24歳以下）が増加したため（5.0%→9.4%[4.4%増]）、「製造・軽作業系」の平均年齢は、下降しているが（37.6歳→37.0歳[0.6歳減]）、母数が少ないため、全体としての平均年齢に大きな影響となっていない。

事務・販売系（年齢）

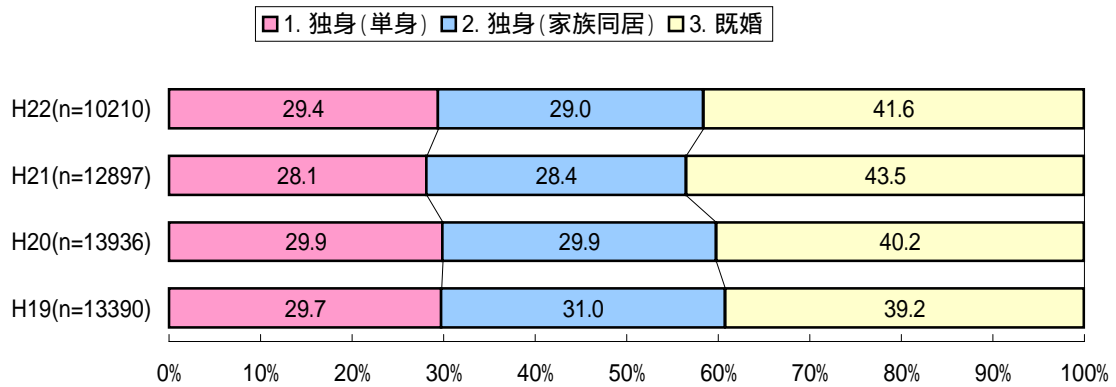


製造・軽作業系（年齢）



(3) 家族

単身と家族同居を合わせた「独身」が58.4%、「既婚」が41.6%となっている。前年度と比べると、「独身」の割合が増えている。

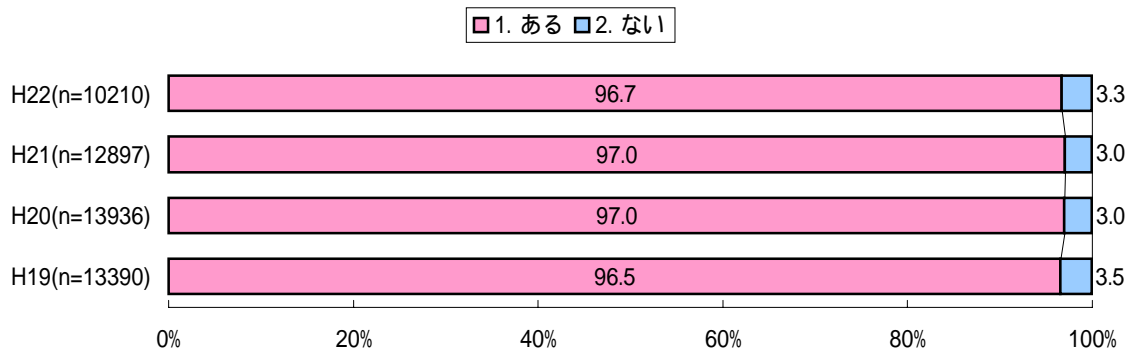


Q. 2 就業経験・状況

<今までの就業経験についてお聞きします>

(1) 今まで派遣以外で働いたことがありますか？

「今まで派遣以外で働いたことがある」が96.7%と圧倒的多数を占め、「今まで派遣以外で働いたことはない」が3.3%となっている。
前年度と比べると、「働いたことがある」が若干減っている。



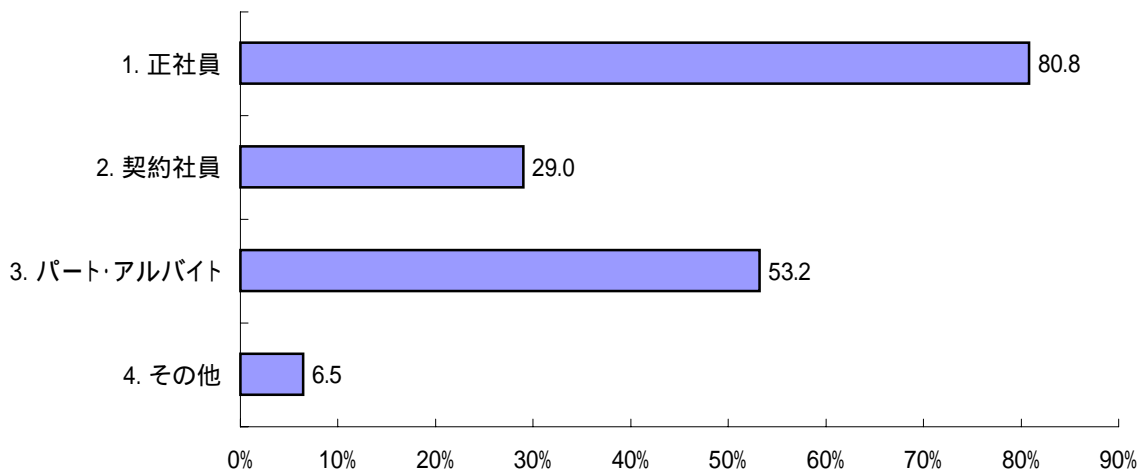
(1) で1を選択した方のみお答えください。

(1) - a : それはどのような働き方でしたか？ (複数回答可)

「今まで派遣以外で働いたことがある」と回答した者に、その働き方を尋ねた結果、「正社員」が80.8%と最も多く、次いで「パート・アルバイト」53.2%、「契約社員」29.0%となっている。

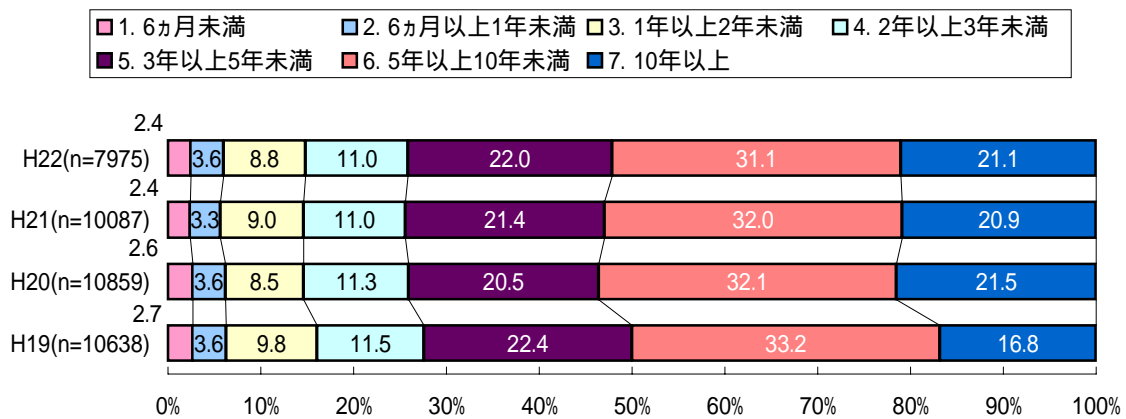
(MA)は、複数回答の略(以下同じ)

(MA) (n=9871)



(1) - a - a : 正社員で働いた期間は通算してどのくらいですか？

「今まで正社員で働いたことがある」と回答した者に、正社員で働いた通算期間を尋ねた結果、「5年以上10年未満」が31.1%と最も多く、次いで「3年以上5年未満」22.0%、「10年以上」21.1%、「2年以上3年未満」11.0%となっている。正社員で働いた期間を通算すると「2年以上」である人は全体の85.2%を占めている。

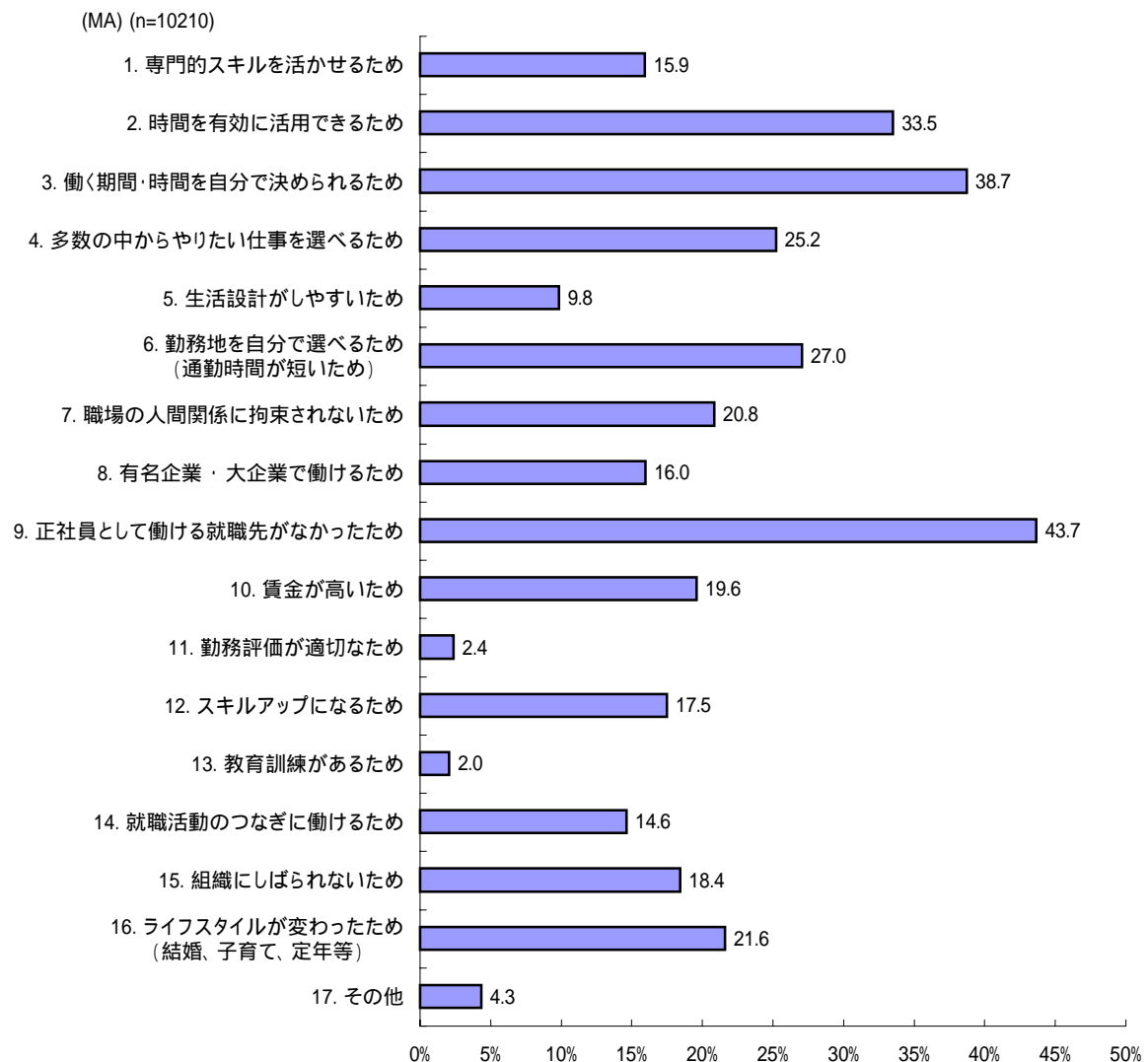


<今までの派遣就業経験についてお聞きします>

(2) 派遣を選んだ理由をお答えください。(複数回答可)

「正社員として働ける就職先がなかったため」が43.7%と最も多く、次いで「働く期間・時間を自分で決められるため」38.7%、「時間を有効に活用できるため」33.5%、「勤務地を自分で選べるため(通勤時間が短いため)」27.0%、「多数の中からやりたい仕事を選べるため」25.2%となっている。派遣就労は、「選択肢の多様性」「自由度や柔軟性」という点で評価されていることがうかがえる。また、「職場の人間関係に拘束されないため」20.8%や「組織にしばられないため」18.4%なども、ストレスや責任等が(正社員より)軽減されることをメリットとして選択していることがうかがえる。

「性別・年齢別属性」で見ると、女性・男性共に、30歳以上では「正社員として働ける就職先がなかったため」を理由とする割合が高くなっている。また、「ライフスタイルが変わったため」は、女性は年齢が高くなるにつれて割合が上昇しているが、男性では50歳以上の層でこの割合が急に高くなっているのが特徴である。

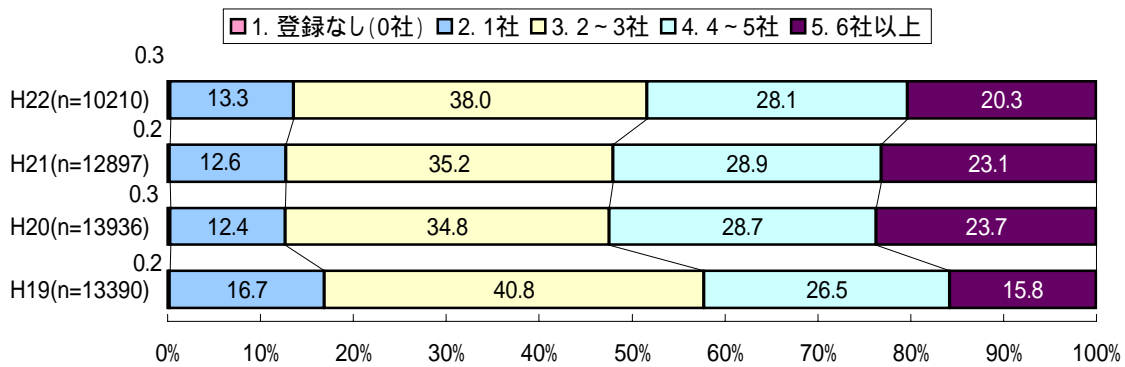


		調査数 (n)	全体	専門的スキルを活かせるため	時間を有効に活用できるため	働く期間・時間を自分で決められるため	多数の中からやりたい仕事を選べるため	生活設計がしやすいため	勤務地を自分で選べるため(通勤時間)	職場の人間関係に拘束されないため
全体		10,210	100.0	15.9	33.5	38.7	25.2	9.8	27.0	20.8
女性全体		9,028	100.0	15.1	33.8	40.4	26.0	10.0	28.6	21.7
男性全体		1,182	100.0	22.3	31.4	26.5	19.0	8.2	15.5	14.0
女性	19歳以下	10	100.0	-	80.0	80.0	30.0	-	20.0	30.0
(年齢別)	20～24歳	183	100.0	9.8	38.3	43.7	26.2	7.7	21.3	12.6
	25～29歳	1,362	100.0	11.4	37.2	40.2	26.0	11.7	28.7	20.0
	30～34歳	2,374	100.0	13.5	34.1	40.0	28.4	11.5	29.0	21.3
	35～39歳	2,353	100.0	15.7	31.2	39.8	27.0	9.6	29.4	25.0
	40～49歳	2,390	100.0	17.9	33.6	40.9	23.7	8.7	28.3	21.2
	50歳以上	356	100.0	20.2	33.1	40.4	19.1	7.6	24.7	17.7
男性	19歳以下	5	100.0	-	60.0	40.0	20.0	40.0	-	-
(年齢別)	20～24歳	54	100.0	11.1	48.1	48.1	35.2	9.3	24.1	14.8
	25～29歳	152	100.0	21.7	36.8	32.9	26.3	6.6	19.1	10.5
	30～34歳	245	100.0	21.2	29.0	26.5	18.0	6.9	12.7	14.3
	35～39歳	196	100.0	19.4	27.0	24.0	20.4	12.2	17.3	18.4
	40～49歳	290	100.0	21.0	30.0	25.2	18.6	5.9	16.2	17.2
	50歳以上	240	100.0	30.8	31.3	20.8	11.3	9.2	12.1	8.8

		有名企業で働けるため	正社員がなかつたため	賃金が高いため	勤務評価が適切なため	スキルアップになるため	教育訓練があるため	就職活動のつなぎに働くため	組織にしばらくられないため	子育て、定年等)	ライフスタイルが変ったため(結婚、)	その他
全体		16.0	43.7	19.6	2.4	17.5	2.0	14.6	18.4	21.6	4.3	
女性全体		16.6	42.9	20.2	2.3	17.7	2.0	13.5	18.8	23.2	4.1	
男性全体		11.3	49.4	15.0	2.8	16.0	2.4	23.4	15.7	9.2	6.3	
女性	19歳以下	-	10.0	40.0	-	-	-	10.0	-	10.0	-	
(年齢別)	20～24歳	13.7	43.2	29.5	1.1	20.2	2.2	23.0	10.9	6.0	3.8	
	25～29歳	17.3	39.9	22.4	1.8	21.0	2.0	16.8	17.3	18.2	3.7	
	30～34歳	19.8	40.9	20.7	2.7	18.6	1.8	14.6	19.5	20.9	4.1	
	35～39歳	17.6	44.5	19.0	2.1	17.3	2.0	11.9	20.9	23.8	3.4	
	40～49歳	13.6	45.5	19.0	2.3	16.4	2.1	11.8	18.0	26.9	4.6	
	50歳以上	7.0	40.7	18.5	3.1	9.0	3.1	10.7	15.7	37.9	6.2	
男性	19歳以下	20.0	-	20.0	-	20.0	-	-	20.0	-	-	
(年齢別)	20～24歳	9.3	29.6	24.1	1.9	29.6	1.9	27.8	11.1	1.9	5.6	
	25～29歳	11.2	42.1	17.1	2.6	23.0	3.9	36.8	9.9	3.9	4.6	
	30～34歳	16.3	54.3	19.6	2.4	18.4	3.3	25.7	15.9	4.9	5.3	
	35～39歳	11.7	60.2	15.8	3.1	16.3	2.0	31.1	14.8	5.1	8.7	
	40～49歳	9.3	55.2	13.4	2.8	14.5	1.7	20.7	22.8	8.3	3.8	
	50歳以上	8.8	38.8	7.9	3.3	7.5	1.7	9.2	12.1	23.3	10.0	

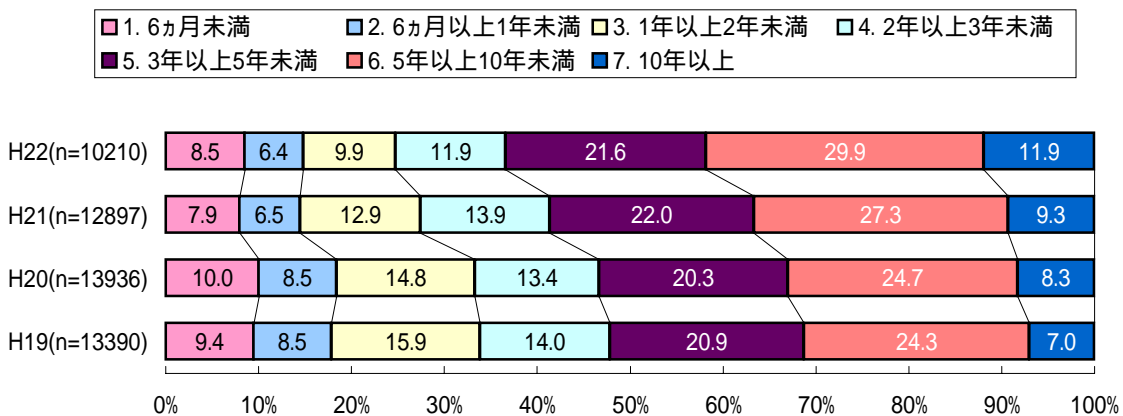
(3) 今まで派遣会社には何社登録しましたか？

「2社以上」の割合が86.4%で、平均すると4.4社となっている。前年度の平均は4.7社である。



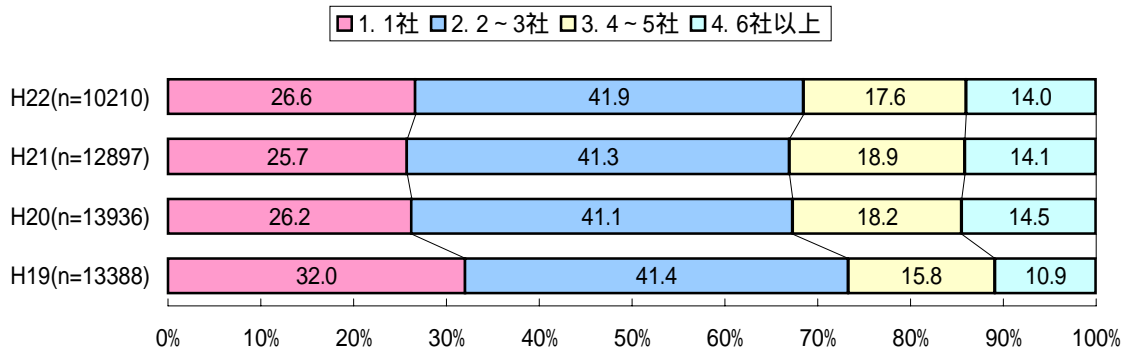
(4) 今まで派遣で働いた期間を通算するとどのくらいですか？（通算派遣期間）

「5年以上10年未満」が29.9%と最も多く、次いで「3年以上5年未満」21.6%、「2年以上3年未満」「10年以上」11.9%、「1年以上2年未満」9.9%となっている。派遣で働いた期間を通算すると「2年以上」である人は全体の75.2%を占めている。前年度と比べると、「3年以上」の割合が増えている。



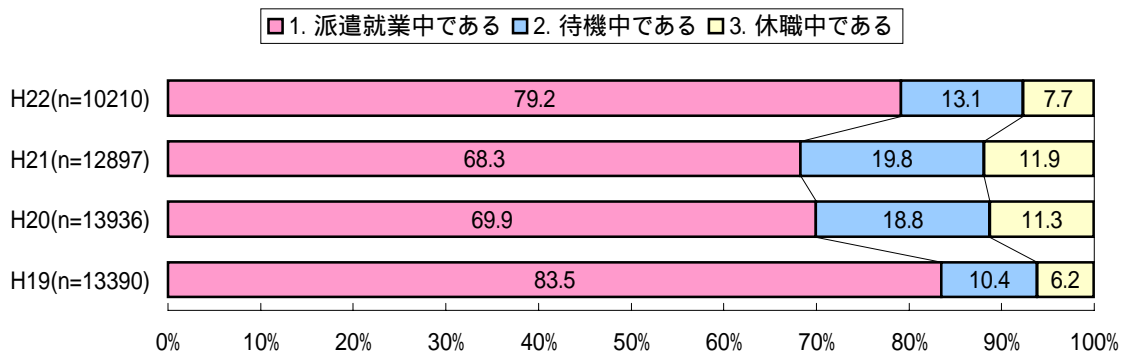
(5) 今まで働いたことのある派遣就業先は何社ですか？

「2～3社」が41.9%と最も多く、次いで「1社」が26.6%となっている。「3社以下」の割合が、7割弱を占めており、平均すると3.6社となっている。前年度の平均は3.7社である。



<現在（または直近）の派遣会社からの派遣就業についてお聞きします>
 (6) 現在、派遣で働いていますか？

「派遣就業中である」が79.2%と多数を占め、「待機中である」と「休職中である」を合わせると20.8%となっている。前年度と比べると、「派遣就業中」が大幅に増えている。



(7) 現在（または直近）の就業先の都道府県はどちらですか？

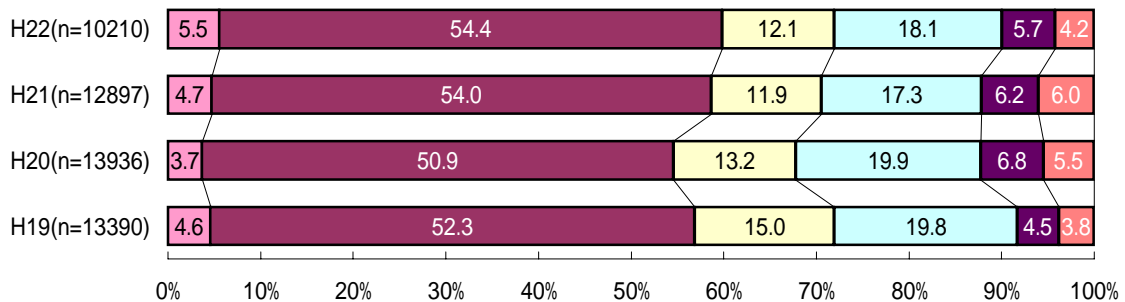
現在（または直近）の就業先の都道府県を地区別で見ると、「関東地区」が54.4%で半数以上を占め、次いで「関西地区」18.1%、「中部地区」12.1%となっている。

前年度と比べると、「北海道・東北地区」「関西地区」の割合が増えている。

地区の中でさらに、主要都道府県とそれ以外で見ると、いわゆる首都圏である「関東（埼玉、千葉、東京、神奈川）」が50.7%で半数を占めている。

都道府県別では、「東京都」が38.0%と最も多く、次いで「大阪府」11.3%、「愛知県」7.2%となっている。

■北海道・東北地区 ■関東地区 □中部地区 □関西地区 ■中国・四国地区 ■九州・沖縄地区

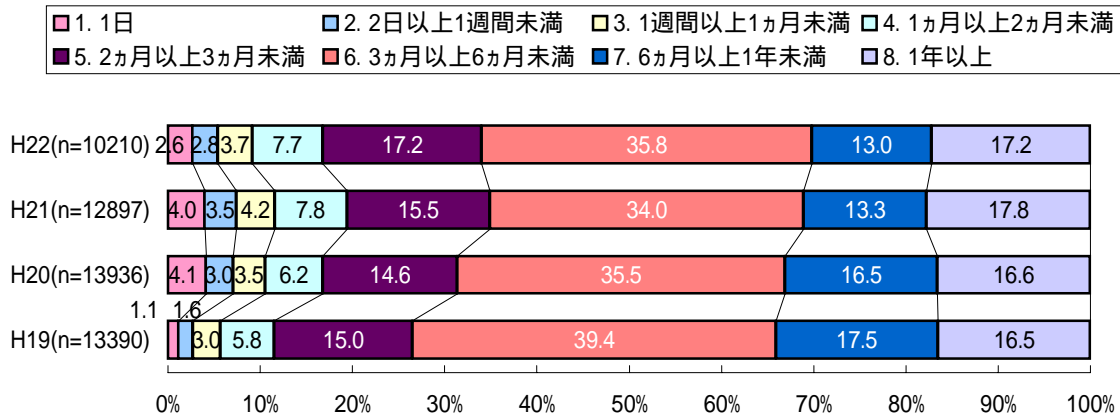


主要都道府県とそれ以外	調査成数	割合	調査成数	割合	調査成数	割合	調査成数	割合
	22年	(%)	21年	(%)	20年	(%)	19年	(%)
全体	10,210	100.0	12,897	100.0	13,936	100.0	13,390	100.0
1 北海道	191	1.9	250	1.9	229	1.6	315	2.4
2 東北(宮城)	204	2.0	208	1.6	172	1.2	170	1.3
3 東北(青森・岩手・秋田・山形・福島)	167	1.6	144	1.1	110	0.8	126	0.9
4 関東(東京)	3,876	38.0	4,730	36.7	5,056	36.3	4,959	37.0
5 関東(埼玉・千葉・東京・神奈川)	5,172	50.7	6,449	50.0	6,858	49.2	6,729	50.3
6 関東(茨城・栃木・群馬・山梨)	378	3.7	516	4.0	240	1.7	279	2.1
7 中部(愛知)	734	7.2	1,059	8.2	1,321	9.5	1,390	10.4
8 中部(新潟・富山・石川・福井・長野・岐阜・静岡・三重)	498	4.9	472	3.7	519	3.7	621	4.6
9 関西(大阪)	1,158	11.3	1,509	11.7	1,881	13.5	1,727	12.9
10 関西(京都・大阪・兵庫)	1,724	16.9	2,122	16.5	2,611	18.7	2,468	18.4
11 関西(滋賀・奈良・和歌山)	127	1.2	110	0.9	168	1.2	183	1.4
12 中国(岡山・広島)	316	3.1	474	3.7	595	4.3	329	2.5
13 中国(鳥取・島根・山口)	56	0.5	43	0.3	40	0.3	50	0.4
14 四国(香川・徳島・愛媛・高知)	211	2.1	277	2.1	309	2.2	219	1.6
15 九州(福岡)	250	2.4	528	4.1	485	3.5	331	2.5
16 九州(佐賀・長崎・熊本・大分・宮崎・鹿児島・沖縄)	182	1.8	245	1.9	279	2.0	180	1.3

	都道府県別	調査数 平成22年	割合 (%)	調査数 平成21年	割合 (%)	調査数 平成20年	割合 (%)	調査数 平成19年	割合 (%)
	全体	10,210	100.0	12,897	100.0	13,936	100.0	13,390	100.0
1	北海道	191	1.9	250	1.9	229	1.6	315	2.4
2	青森県	51	0.5	38	0.3	29	0.2	26	0.2
3	岩手県	33	0.3	34	0.3	21	0.2	27	0.2
4	宮城県	204	2.0	208	1.6	172	1.2	170	1.3
5	秋田県	25	0.2	13	0.1	11	0.1	19	0.1
6	山形県	17	0.2	12	0.1	13	0.1	12	0.1
7	福島県	41	0.4	47	0.4	36	0.3	42	0.3
8	茨城県	143	1.4	164	1.3	104	0.7	133	1.0
9	栃木県	161	1.6	264	2.0	88	0.6	84	0.6
10	群馬県	64	0.6	74	0.6	36	0.3	54	0.4
11	埼玉県	295	2.9	471	3.7	442	3.2	366	2.7
12	千葉県	315	3.1	337	2.6	374	2.7	418	3.1
13	東京都	3,876	38.0	4,730	36.7	5,056	36.3	4,959	37.0
14	神奈川県	686	6.7	911	7.1	986	7.1	986	7.4
15	新潟県	123	1.2	50	0.4	45	0.3	62	0.5
16	山梨県	10	0.1	14	0.1	12	0.1	8	0.1
17	富山県	37	0.4	18	0.1	19	0.1	26	0.2
18	石川県	41	0.4	35	0.3	26	0.2	35	0.3
19	福井県	11	0.1	9	0.1	14	0.1	31	0.2
20	長野県	36	0.4	43	0.3	32	0.2	75	0.6
21	岐阜県	58	0.6	77	0.6	79	0.6	92	0.7
22	静岡県	151	1.5	154	1.2	211	1.5	190	1.4
23	愛知県	734	7.2	1,059	8.2	1,321	9.5	1,390	10.4
24	三重県	41	0.4	86	0.7	93	0.7	110	0.8
25	滋賀県	69	0.7	48	0.4	96	0.7	128	1.0
26	京都府	226	2.2	201	1.6	267	1.9	287	2.1
27	大阪府	1,158	11.3	1,509	11.7	1,881	13.5	1,727	12.9
28	兵庫県	340	3.3	412	3.2	463	3.3	454	3.4
29	奈良県	33	0.3	38	0.3	44	0.3	42	0.3
30	和歌山県	25	0.2	24	0.2	28	0.2	13	0.1
31	鳥取県	9	0.1	9	0.1	5	0.0	12	0.1
32	岡山県	121	1.2	182	1.4	270	1.9	92	0.7
33	香川県	103	1.0	143	1.1	129	0.9	80	0.6
34	徳島県	25	0.2	49	0.4	18	0.1	27	0.2
35	愛媛県	73	0.7	69	0.5	140	1.0	80	0.6
36	高知県	10	0.1	16	0.1	22	0.2	32	0.2
37	島根県	10	0.1	8	0.1	10	0.1	11	0.1
38	広島県	195	1.9	292	2.3	325	2.3	237	1.8
39	山口県	37	0.4	26	0.2	25	0.2	27	0.2
40	福岡県	250	2.4	528	4.1	485	3.5	331	2.5
41	佐賀県	10	0.1	17	0.1	30	0.2	21	0.2
42	長崎県	18	0.2	19	0.1	33	0.2	29	0.2
43	熊本県	50	0.5	78	0.6	79	0.6	38	0.3
44	大分県	26	0.3	43	0.3	26	0.2	24	0.2
45	宮崎県	32	0.3	24	0.2	44	0.3	18	0.1
46	鹿児島県	27	0.3	40	0.3	39	0.3	27	0.2
47	沖縄県	19	0.2	24	0.2	28	0.2	23	0.2

(8) 現在（または直近）の契約の期間はどのくらいですか？（契約期間）

「3ヵ月以上6ヵ月未満」が35.8%と最も多く、次いで「2ヵ月以上3ヵ月未満」「1年以上」が17.2%、「6ヵ月以上1年未満」13.0%となっている。「1ヵ月未満」は9.1%である。
前年度と比べると、全体としては、「2ヵ月未満」の割合が減っている。

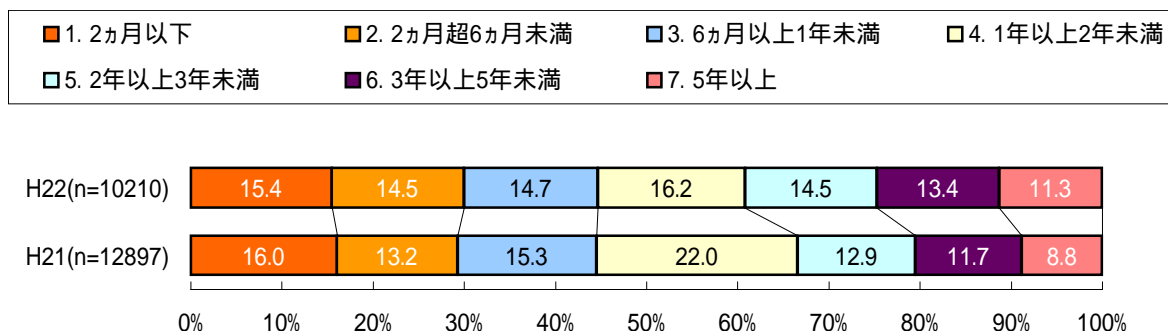
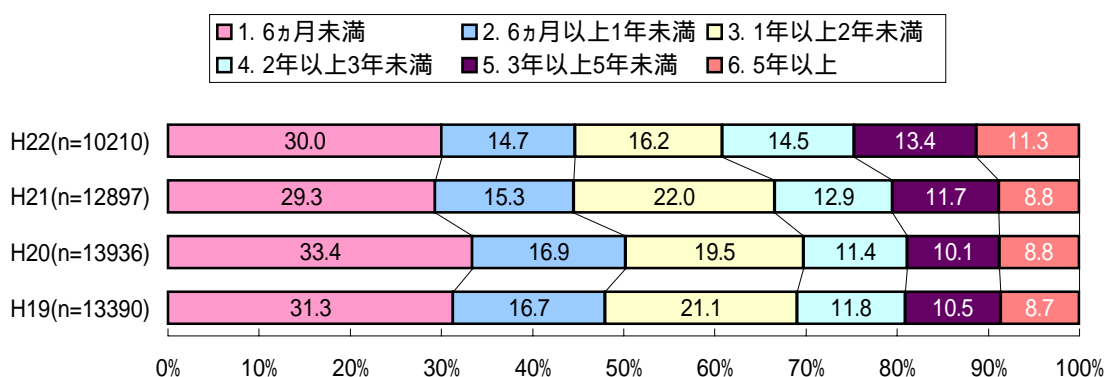


(参考) 日雇い派遣指針では、「日雇い派遣」は「日々」又は「30日以内」の労働契約を結んで派遣すると定義されている。

(9) 現在（または直近）の就業先において、通算した就業期間はどのくらいですか？
 (通算就業期間)

「6ヵ月未満」が30.0%と最も多く、次いで「1年以上2年未満」16.2%、「6ヵ月以上1年未満」14.7%となっている。同じ就業先で通算「3年以上」就業している人は全体の約2割強となっている。
 前年度と比べると、「2年以上」の割合が増えている。

また、「6ヵ月未満」を「2ヵ月以下」と「2ヵ月超6ヵ月未満」に分けて集計したところ、「2ヵ月以下」が15.4%、「2ヵ月超6ヵ月未満」が14.5%となっている。



現在（又は直近）の就業先での通算就業期間の長短にかかわらず、「現在（又は直近）の契約期間」は「3ヵ月以上6ヵ月未満」とする割合が最も高くなっているが、通算就業期間が「1年以上」の者は契約期間が「1年以上」の者の割合が比較的多くなっている。
 通算就業期間に比べて契約期間が細切れになっている実態もみられるが、契約の継続により結果として通算就業期間が長くなっているものと思われる。

< 契約期間別通算就業期間 >

通算就業期間

	調査数（n）	全体	2ヵ月以下	2ヵ月超6ヵ月未満	6ヵ月以上1年未満	1年以上2年未満	2年以上3年未満	3年以上5年未満	5年以上
調査数（n）	10,210		1,574	1,484	1,501	1,649	1,481	1,369	1,152
全体	10,210	100.0	100.0	100.0	100.0	100.0	100.0	100.0	100.0
1日	269	2.6	13.1	1.4	0.9	0.3	0.5	0.8	0.5
2日以上1週間未満	283	2.8	13.0	1.1	1.3	0.2	0.8	0.9	1.1
1週間以上1ヵ月未満	380	3.7	13.7	3.7	2.2	1.8	1.4	0.9	1.3
1ヵ月以上2ヵ月未満	782	7.7	22.6	7.1	5.9	4.7	4.2	4.2	3.0
2ヵ月以上3ヵ月未満	1,760	17.2	14.8	22.6	15.9	16.4	16.5	18.0	16.6
3ヵ月以上6ヵ月未満	3,651	35.8	14.2	45.4	33.6	38.9	40.6	40.5	39.4
6ヵ月以上1年未満	1,331	13.0	3.6	10.9	29.4	10.2	11.7	12.0	14.4
1年以上	1,754	17.2	5.0	7.7	10.9	27.5	24.4	22.6	23.6

契約期間P14 Q2(8)

通算就業期間から「派遣を選んだ理由」をみると「2ヵ月以下」においては、派遣の「自由度や柔軟性」を評価して選んだ方の割合が全体での構成比率15.4%を超えているものが多くなっている。

<派遣を選んだ理由別通算就業期間>

	調査数 (n)	全体	通算就業期間						
			2ヵ月以下	2ヵ月超 6ヵ月未満	6ヵ月以上 1年未満	1年以上 2年未満	2年以上 3年未満	3年以上 5年未満	5年以上
全体	10,210	100.0	15.4	14.5	14.7	16.2	14.5	13.4	11.3
専門的スキルを活かせるため	1,626	100.0	13.6	16.4	15.3	15.7	14.3	12.4	12.4
時間を有効に活用できるため	3,419	100.0	19.5	14.3	13.5	15.1	14.4	13.3	9.8
働く期間・時間を自分で決められるため	3,956	100.0	20.4	15.1	14.3	16.5	13.8	12.0	8.0
多数の中からやりたい仕事を選べるため	2,575	100.0	19.8	16.2	15.1	15.8	14.5	11.0	7.5
生活設計がしやすいため	1,003	100.0	18.3	14.7	17.6	13.1	15.7	11.8	8.9
勤務地を自分で選べるため(通勤時間が短い)	2,761	100.0	16.3	14.5	13.3	17.2	15.8	13.1	9.9
職場の人間関係に拘束されないため	2,128	100.0	15.9	14.1	13.9	16.3	15.1	13.7	10.9
有名企業・大企業で働けるため	1,630	100.0	13.6	14.4	13.9	16.2	17.4	14.0	10.5
正社員として働ける就職先がなかったため	4,458	100.0	12.9	15.0	15.1	16.4	14.8	13.8	12.2
賃金が高いため	1,999	100.0	18.3	15.4	12.8	15.4	14.5	14.5	9.2
勤務評価が適切なため	240	100.0	20.0	14.6	13.3	11.7	11.7	17.1	11.7
スキルアップになるため	1,786	100.0	17.3	15.9	15.8	17.1	14.2	11.3	8.5
教育訓練があるため	209	100.0	19.1	15.8	14.4	12.9	12.4	15.3	10.0
就職活動のつなぎに働けるため	1,494	100.0	21.3	18.9	16.1	15.7	11.2	9.6	7.2
組織にしばられないため	1,881	100.0	14.5	14.4	13.9	15.6	15.3	13.6	12.8
ライフスタイルが変わったため(結婚、子育て、定年等)	2,205	100.0	15.7	13.9	14.7	16.8	15.1	14.0	9.8
その他	442	100.0	15.8	15.2	14.0	12.2	12.0	16.7	14.0

派遣を選んだ理由P8 Q2(2)

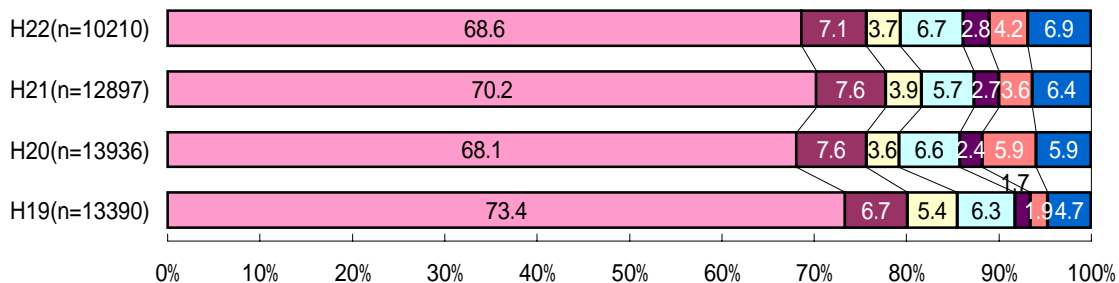
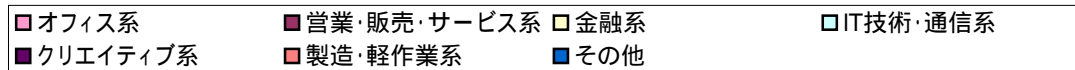
Q. 3 現在（または直近）の業務

(1) 現在（または直近）、実際に働かれている主な業務の種類を次の中から選択し、該当する数字に○をおつけ下さい。

実際に働いている業務をカテゴリー別に分類すると、「オフィス系」が68.6%と最も多く、他のカテゴリーの「営業・販売・サービス」や「金融系」「IT技術・通信系」などは数%となっている。
前年度と比べると、「オフィス系」の割合が減っている。

業務の種類で分類すると、政令で定める26業務は「5号業務（事務用機器操作）」が37.6%と最も多く、次いで「11号業務（貿易、国内取引業務）」6.7%、「10号業務（財務処理）」3.7%、「23号業務（OAインストラクター（ユーザーサポート・ヘルプデスクを含む）、その他IT技術・通信系業務）」3.4%、「16号業務（受付・案内、駐車場管理等）」2.9%となっている。

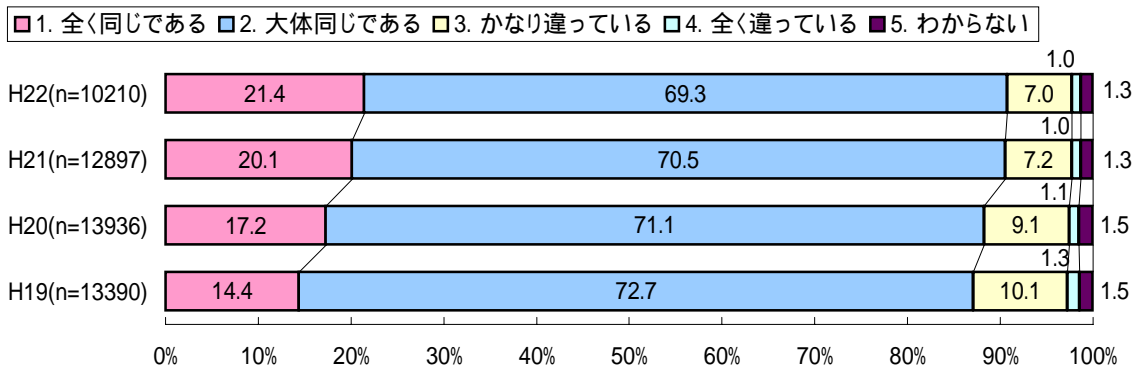
政令で定める26業務以外の業務は、全体の30.8%、「オフィス・その他」16.5%、「営業・販売・その他」4.5%、「製造・軽作業」4.2%となっている。



	調平成 査数 2 2年	割合 (%)	調平成 査数 2 1年	割合 (%)	調平成 査数 2 0年	割合 (%)	調平成 査数 1 9年	割合 (%)
全 体	10,210	100.0	12,897	100.0	13,936	100.0	13,390	100.0
【1号】ソフトウェア開発、システムエンジニア・プログラマー	137	1.3	154	1.2	152	1.1	156	1.2
【2号】機械設計（CADオペレーター等）	140	1.4	174	1.3	279	2.0	217	1.6
【5号】OA事務、英文事務、PCオペレーター、金融事務、ネットワーク構築、WEB作成	3,834	37.6	5,398	41.9	5,344	38.3	5,617	41.9
【6号】通訳・翻訳・速記	130	1.3	138	1.1	129	0.9	98	0.7
【7号】秘書	171	1.7	186	1.4	212	1.5	210	1.6
【8号】専門的文書ファイリング	58	0.6	214	1.7	244	1.8	318	2.4
【9号】市場調査	42	0.4	89	0.7	19	0.1	26	0.2
【10号】財務処理	380	3.7	520	4.0	648	4.6	634	4.7
【11号】貿易・国際業務、営業事務（国内取引文書作成）	683	6.7	675	5.2	949	6.8	1,032	7.7
【12号】デモンストレーション（高度のスキルが必要な機械の紹介及び説明）	39	0.4	39	0.3	40	0.3	38	0.3
【13号】添乗	26	0.3	11	0.1	10	0.1	16	0.1
【14号】建築物清掃	2	-	5	-	12	0.1	3	0.0
【15号】建築設備運転、点検、整備	7	0.1	6	-	14	0.1	2	0.0
【16号】受付・案内、駐車場管理等	297	2.9	432	3.3	464	3.3	398	3.0
【17号】研究開発	152	1.5	174	1.3	242	1.7	258	1.9
【18号】事業の実施体制の企画、立案	11	0.1	12	0.1	8	0.1	6	0.0
【19号】制作・編集・校正、DTPデザイン	111	1.1	223	1.7	215	1.5	144	1.1
【20号】広告デザイン	13	0.1	14	0.1	12	0.1	9	0.1
【WEBデザイン複合】WEBデザイン（19号or20号）、CGデザイン（19号or20号）、【その他クリエイティブ業務】	155	1.5	101	0.8	82	0.6	67	0.5
【21号】インテリアコーディネータ	10	0.1	12	0.1	26	0.2	4	0.0
【23号】OAインストラクター（ユーザーサポート・ヘルプデスクを含む）、【その他IT技術・通信系業務】	351	3.4	352	2.7	419	3.0	379	2.8
【24号】テレマーケティングの営業、オンライン取引コールセンター業務	260	2.5	414	3.2	372	2.7	301	2.2
【25号】セールスエンジニアの営業、資産運用提案業務、証券営業	40	0.4	92	0.7	55	0.4	91	0.7
【3、4、22、26号】放送関連業務	12	0.1	23	0.2	7	0.1	11	0.1
【オフィス・その他】データ入力（キー入力のみ）、庶務事務（OA業務は含まず）、その他オフィス業務	1,687	16.5	1,730	13.4	1,796	12.9	1,893	14.1
【営業・その他サービス】その他営業・販売・サービス	457	4.5	588	4.6	697	5.0	633	4.7
【その他金融業務】窓口・接客等の業務	132	1.3	161	1.2	158	1.1	273	2.0
【製造・軽作業】製造（ライン業務・生産管理等）、各種運転手、軽作業（会場設営・引越し等）、倉庫内作業、その他製造・軽作業業務	426	4.2	460	3.6	820	5.9	255	1.9
【医療】（医療事務、医療関連業務、看護関連業務）	178	1.7	198	1.5	207	1.5	118	0.9
【介護・福祉】介護・福祉関連業務	38	0.4	48	0.4	48	0.3	21	0.2
【その他専門職】	231	2.3	254	2.0	256	1.8	162	1.2

(2) (1) で回答した業務は、あらかじめ派遣元から聞いている業務内容や就業条件明示書（契約書）に書かれている業務内容と同じでしたか？

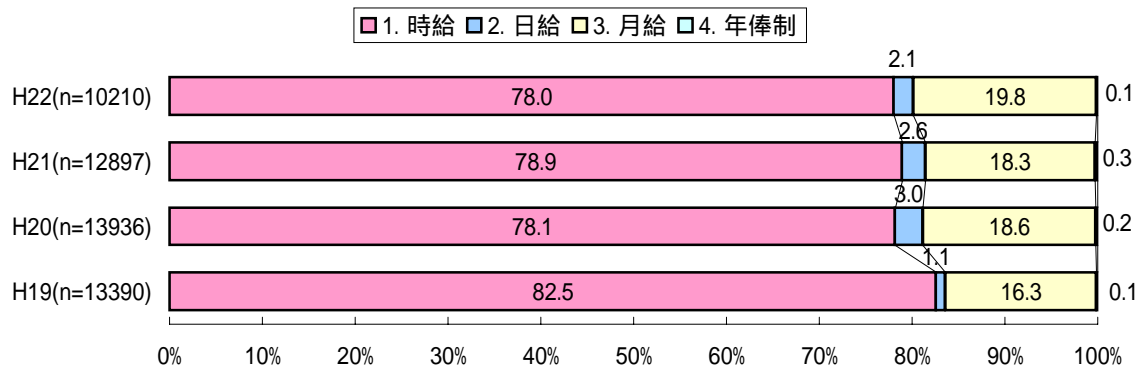
「全く同じである」「大体同じである」を合わせると、90.7%と大多数を占め、「かなり違っている」「全く違っている」は8.0%となっている。前年度と比べると、ほぼ同様であるが、派遣元事業主のマッチング機能の向上とスタッフの業務内容の把握、就業条件の明示の仕方等の改善に向けた恒常的な取り組みがうかがえる。



Q . 4 現在（または直近）の派遣での賃金及び労働時間等

(1) 現在（または直近）の賃金は、どのように支払われていますか？

「時給」が78.0%と大多数を占め、次いで「月給」19.8%、「日給」2.1%、「年俸制」0.1%となっている。
前年度と比べると、ほぼ同様である。

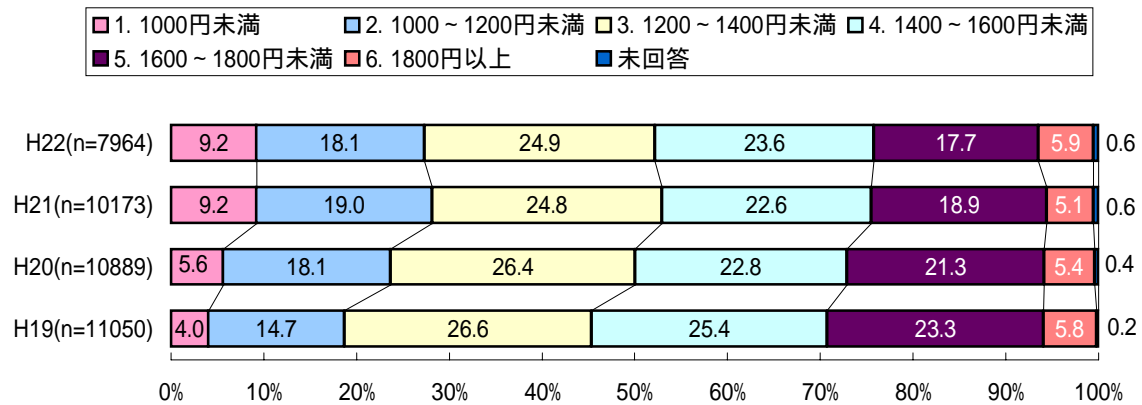


(2) 現在（または直近）の賃金額についてお答えください。
 ((1)の選択肢を元に)

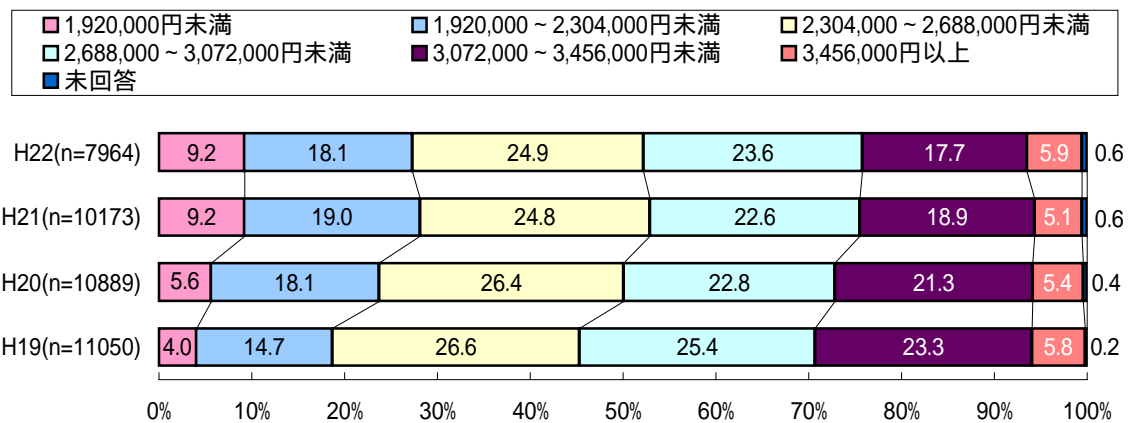
1. 時給

賃金の支給方法が「時給」と回答した者に、賃金額を尋ねた結果、「1200～1400円未満」が24.9%と最も多く、次いで「1400～1600円未満」23.6%、「1000～1200円未満」18.1%となっており、この層で7割弱を占めている。平均時給についてみると、平成22年度は1,363円、平成21年度は1,353円、平成20年度1,386円、平成19年度1,417円となっている。

下段のグラフは、同じ数値を想定年収で表示したものである。



想定年収（＝平均時給×8時間×20日×12ヵ月）



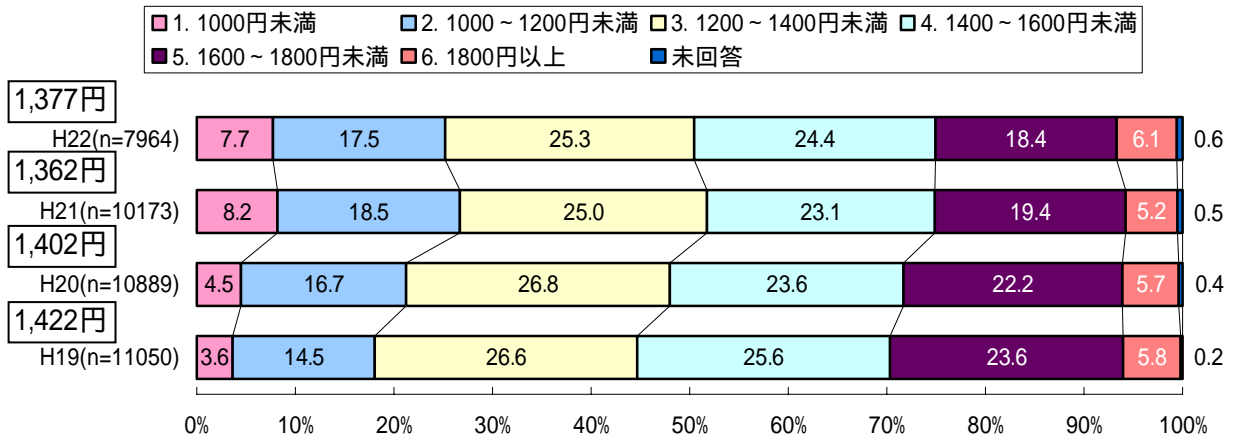
平均時給を各年度で「事務・販売系」と「製造・軽作業系」別でみると、「事務・販売系」では（平均1,422円→1,402円→1,362円→1,377円）、「製造・軽作業系」では（平均1,127円→1,063円→1,062円→1,035円）となっている。

平成22年度の「事務・販売系」では、「1,400～1,600円未満」が若干増加したことで平均額を上げた。

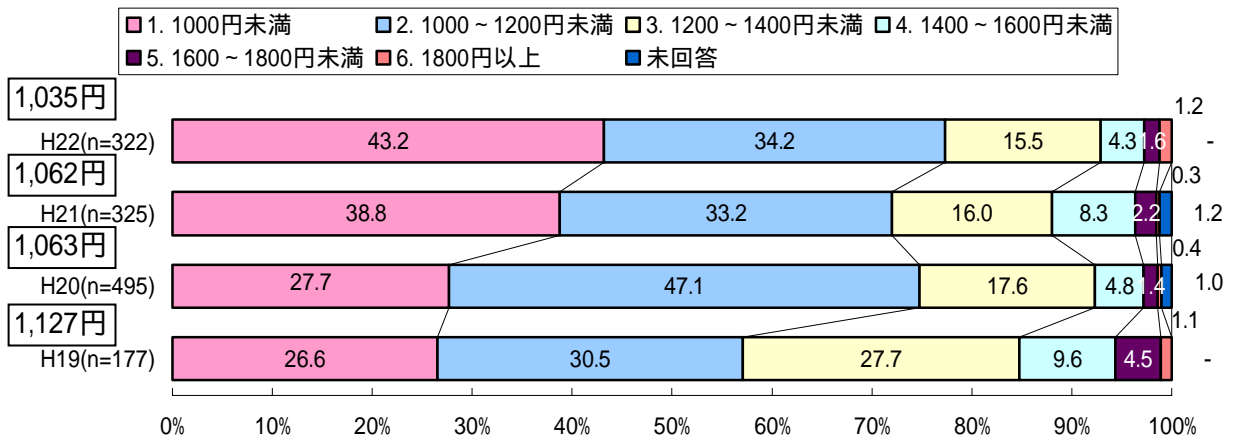
一方、「製造・軽作業系」では、「1000円未満」が増加しているため（38.8%→43.2%[4.4%増]）、平均額に影響が生じたところである。

近年の経済不況に伴う派遣先の経営状況の悪化等の影響により、依然として雇用状況は厳しく低調であるが、前年度と比べると、全体としては、派遣労働者の勤務時間数や平均勤務日数が回復しているように、賃金の持ち直しにもあらわれていることがうかがわれる。（関連P30 Q4(4)-a, c）。

事務・販売系（時給）



製造・軽作業系（時給）



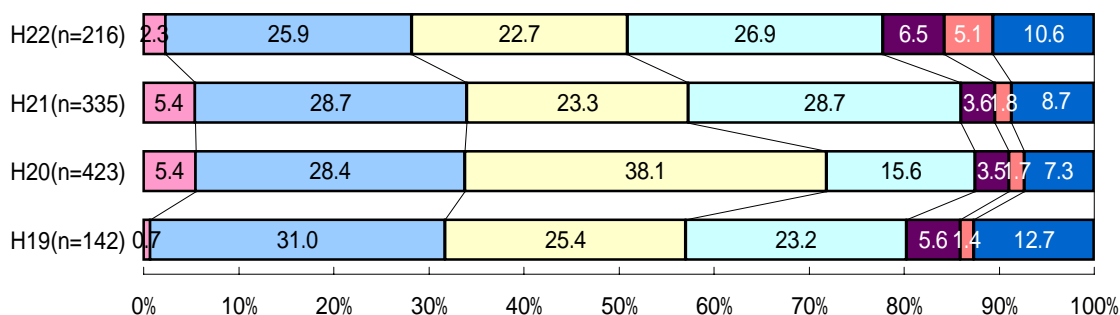
2. 日給

賃金の支給方法が「日給」と回答した者に、賃金額を尋ねた結果、「10000～15000円未満」が26.9%と最も多く、次いで「5000～8000円未満」25.9%、「8000～10000円未満」22.7%となっている。

平均日給についてみると、平成22年度は10,030円、平成21年度は平均は9,070円、平成20年度8,438円、平成19年度9,196円となっている。

前年度の平均額と比べると、「20000円以上」が増加したことで上昇している。

■ 1. 5000円未満 ■ 2. 5000～8000円未満 ■ 3. 8000～10000円未満 ■ 4. 10000～15000円未満
 ■ 5. 15000～20000円未満 ■ 6. 20000円以上 ■ 未回答



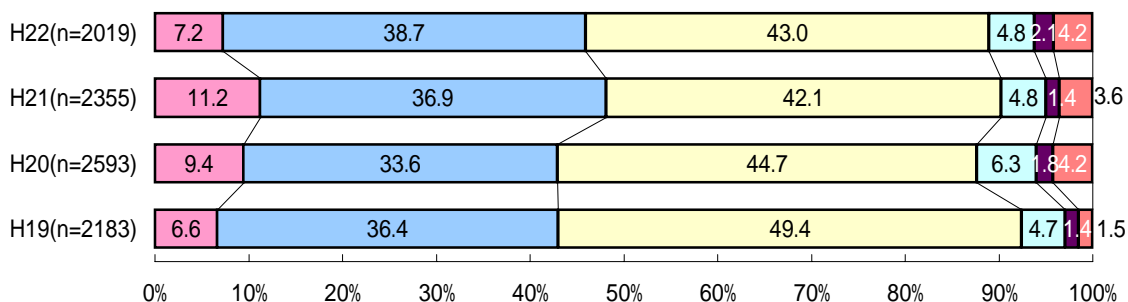
3. 月給 ※小数点以下は四捨五入してご入力ください。 例：20.3万円→20万円

賃金の支給方法が「月給」と回答した者に、賃金額を尋ねた結果、「20～30万円未満」が43.0%と最も多く、次いで「10～20万円未満」38.7%となっている。

平均月給についてみると、平成22年度は19.3万円、平成21年度は18.6万円、平成20年度19.5万円、平成19年度19.6万円となっている。

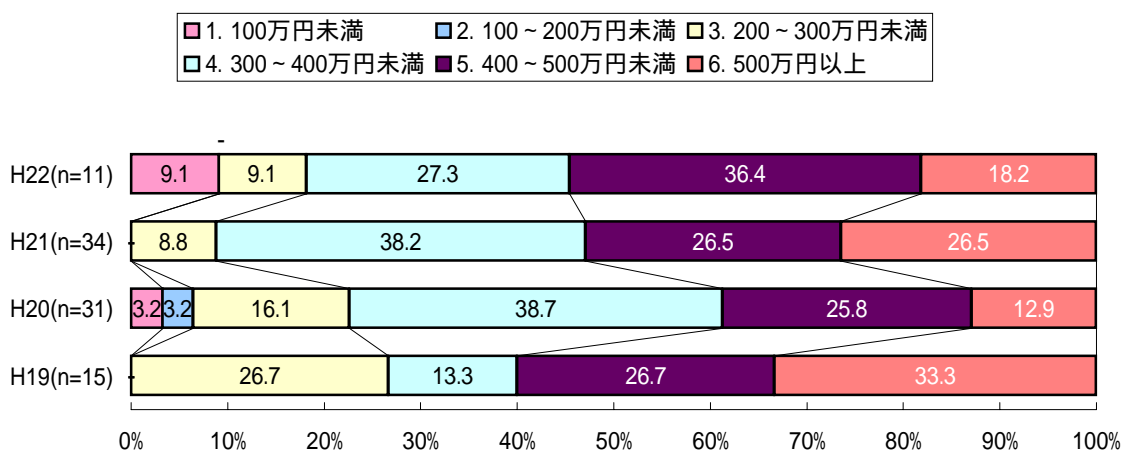
前年度の平均額と比べると、20万円以上が増加したことで上昇している。

■ 1. 10万円未満 ■ 2. 10～20万円未満 ■ 3. 20～30万円未満 ■ 4. 30～40万円未満 ■ 5. 40万円以上 ■ 未回答



4. 年収 ※小数点以下は四捨五入してご入力ください。 例：300.5万円→301万円

賃金の支給方法が「年俸制」と回答した者に、年収額を尋ねた結果、「400～500万円未満」が36.4%と最も多く、次いで「300～400万円未満」27.3%、「500万円以上」18.2%となっている。
 平均年収についてみると、平成22年度は380.5万円、平成21年度は423.6万円、平成20年度360.3万円、平成19年度419.9万円となっている。
 ※母数が少ないため参考値



都道府県別・業務の種類別の平均時給

都道府県全体の平均時給は1,363円となっており、想定平均年収（平均時給×8時間×20日×12ヵ月）は2,618,112円となっている。都道府県別では、東京が最も高く1,554円、2,985,408円となっている。地域的には、首都圏が高く、続いて東海と近畿となっている。

業務の種類別では、26業務全体の平均時給は1,420円となっており、「【1号】ソフトウェア開発、システムエンジニア・プログラマー」が1,904円と最も高く、次いで「【25号】セールスエンジニアの営業、資産運用提案業務、証券営業」が1,814円となっている。政令で定める26業務以外の業務では、平均時給は1,232円となっており、「【その他専門職】」（ex. 試験監督等）が1,407円と最も高く、次いで「【その他金融業務】窓口・接客等の業務」1,389円となっている。

	調査数 (n)	全体	10000円未満	10000円未満	12000円未満	14000円未満	16000円未満	18000円未満	18000円以上	無回答	平均 (円)	想定平均年収 (円)
全体	7,964	100.0	9.2	18.1	24.9	23.6	17.7	5.9	0.6		1,363.6	2,618,112
北海道	147	100.0	36.1	50.3	10.9	0.7	-	0.7	1.4		1,010.0	1,939,200
青森県	41	100.0	61.0	26.8	9.8	2.4	-	-	-		939.7	1,804,224
岩手県	28	100.0	42.9	42.9	14.3	-	-	-	-		1,007.0	1,933,440
宮城県	161	100.0	15.5	52.8	29.8	1.9	-	-	-		1,107.6	2,126,592
秋田県	19	100.0	57.9	26.3	10.5	-	5.3	-	-		982.1	1,885,632
山形県	16	100.0	37.5	37.5	18.8	-	-	6.3	-		1,060.0	2,035,200
福島県	33	100.0	30.3	48.5	18.2	3.0	-	-	-		1,056.4	2,028,288
茨城県	121	100.0	8.3	28.1	46.3	13.2	3.3	0.8	-		1,223.5	2,349,120
栃木県	115	100.0	13.0	32.2	34.8	10.4	4.3	2.6	2.6		1,200.3	2,304,576
群馬県	52	100.0	11.5	46.2	38.5	1.9	-	-	1.9		1,137.6	2,184,192
埼玉県	237	100.0	6.3	15.6	34.2	30.4	10.1	3.4	-		1,350.2	2,592,384
千葉県	234	100.0	12.8	13.2	22.6	38.5	9.8	2.6	0.4		1,328.8	2,551,296
東京都	3,039	100.0	2.3	5.2	10.0	32.8	38.6	10.6	0.5		1,554.9	2,985,408
神奈川県	547	100.0	5.5	8.2	19.9	41.1	17.4	7.7	0.2		1,443.1	2,770,752
新潟県	98	100.0	24.5	49.0	10.2	10.2	2.0	2.0	2.0		1,108.9	2,129,088
山梨県	4	100.0	25.0	25.0	50.0	-	-	-	-		1,140.0	2,188,800
富山県	27	100.0	3.7	70.4	22.2	3.7	-	-	-		1,128.9	2,167,488
石川県	31	100.0	22.6	45.2	22.6	6.5	-	3.2	-		1,126.5	2,162,880
福井県	8	100.0	25.0	37.5	25.0	12.5	-	-	-		1,123.8	2,157,696
長野県	28	100.0	25.0	32.1	25.0	7.1	7.1	3.6	-		1,197.9	2,299,968
岐阜県	48	100.0	-	31.3	64.6	4.2	-	-	-		1,219.8	2,342,016
静岡県	123	100.0	6.5	21.1	56.1	10.6	1.6	3.3	0.8		1,256.1	2,411,712
愛知県	583	100.0	4.3	9.1	59.3	20.2	2.9	3.8	0.3		1,329.8	2,553,216
三重県	34	100.0	8.8	17.6	67.6	5.9	-	-	-		1,212.9	2,328,768
滋賀県	50	100.0	14.0	20.0	50.0	8.0	4.0	2.0	2.0		1,208.0	2,319,360
京都府	174	100.0	9.8	29.3	42.5	12.1	2.9	2.9	0.6		1,218.9	2,340,288
大阪府	887	100.0	10.3	12.0	43.4	24.9	4.6	4.1	0.8		1,323.3	2,540,736
兵庫県	274	100.0	13.1	21.9	42.0	14.6	2.9	4.4	1.1		1,244.8	2,390,016
奈良県	25	100.0	28.0	28.0	40.0	4.0	-	-	-		1,088.8	2,090,496
和歌山県	16	100.0	18.8	43.8	18.8	6.3	6.3	6.3	-		1,170.6	2,247,552
鳥取県	6	100.0	50.0	50.0	-	-	-	-	-		998.3	1,916,736
岡山県	80	100.0	35.0	45.0	16.3	-	1.3	1.3	1.3		1,053.4	2,022,528
香川県	80	100.0	11.3	62.5	23.8	2.5	-	-	-		1,105.6	2,122,752
徳島県	22	100.0	13.6	59.1	13.6	9.1	-	-	4.5		1,084.1	2,081,472
愛媛県	54	100.0	33.3	57.4	7.4	1.9	-	-	-		996.5	1,913,280
高知県	10	100.0	20.0	60.0	-	-	-	20.0	-		1,205.0	2,313,600
島根県	8	100.0	12.5	50.0	25.0	12.5	-	-	-		1,115.0	2,140,800
広島県	143	100.0	15.4	53.8	25.9	3.5	1.4	-	-		1,111.7	2,134,464
山口県	27	100.0	18.5	81.5	-	-	-	-	-		1,054.3	2,024,256
福岡県	194	100.0	14.4	61.9	18.6	3.6	0.5	0.5	0.5		1,100.0	2,112,000
佐賀県	8	100.0	25.0	50.0	25.0	-	-	-	-		1,065.0	2,044,800
長崎県	15	100.0	40.0	40.0	13.3	-	-	-	6.7		1,022.9	1,963,968
熊本県	39	100.0	41.0	48.7	5.1	5.1	-	-	-		1,023.5	1,965,120
大分県	18	100.0	11.1	83.3	5.6	-	-	-	-		1,058.9	2,033,088
宮崎県	23	100.0	52.2	39.1	4.3	-	-	-	4.3		968.5	1,859,520
鹿児島県	24	100.0	33.3	62.5	-	4.2	-	-	-		1,003.8	1,927,296
沖縄県	13	100.0	69.2	30.8	-	-	-	-	-		900.8	1,729,536

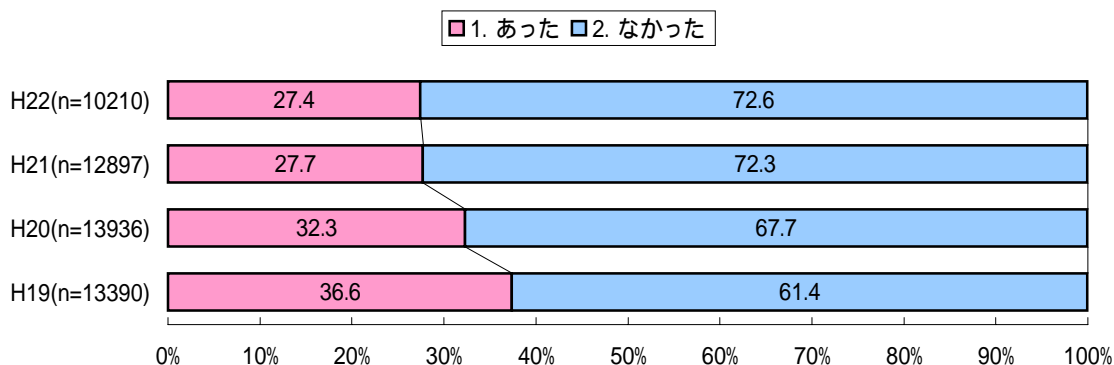
	調査数 (n)	全体	1000円未満	10000円未満	12000円未満	14000円未満	16000円未満	18000円以上	無回答	平均 (円)
全体	7,964	100.0	9.2	18.1	24.9	23.6	17.7	5.9	0.6	1,363.6
[1号]ソフトウェア開発、システムエンジニア・プログラマー	100	100.0	1.0	1.0	9.0	16.0	15.0	58.0	-	1,904.1
[2号]機械設計(CADオペレーター等)	107	100.0	0.9	8.4	28.0	30.8	22.4	9.3	-	1,465.1
[5号]OA事務、英文事務、PCオペレーター、金融事務、ネットワーク構築、WEB作成	3,094	100.0	4.9	16.5	26.5	27.6	20.8	3.3	0.4	1,382.4
[6号]通訳・翻訳・速記	105	100.0	1.9	6.7	7.6	14.3	32.4	36.2	1.0	1,732.2
[7号]秘書	118	100.0	1.7	8.5	15.3	19.5	38.1	16.9	-	1,544.4
[8号]専門的文書ファイリング	48	100.0	10.4	20.8	16.7	14.6	37.5	-	-	1,364.8
[9号]市場調査	27	100.0	37.0	37.0	7.4	14.8	3.7	-	-	1,088.5
[10号]財務処理	308	100.0	2.3	15.6	25.6	23.1	26.3	6.8	0.3	1,440.8
[11号]貿易・国際業務、営業事務(国内取引文書作成)	535	100.0	1.1	12.0	25.4	31.6	26.0	3.6	0.4	1,448.6
[12号]デモンストレーション(高度のスキルが必要な機械の紹介及び説明)	21	100.0	4.8	19.0	23.8	33.3	19.0	-	-	1,335.7
[13号]添乗	6	100.0	33.3	16.7	33.3	-	16.7	-	-	1,132.0
[14号]建築物清掃	1	100.0	100.0	-	-	-	-	-	-	980.0
[15号]建築設備運転、点検、整備	3	100.0	-	-	33.3	33.3	-	-	33.3	1,385.0
[16号]受付・案内、駐車場管理等	244	100.0	20.9	23.8	27.0	19.3	8.2	0.4	0.4	1,201.4
[17号]研究開発	117	100.0	-	12.8	22.2	43.6	13.7	5.1	2.6	1,442.6
[18号]事業の実施体制の企画、立案	9	100.0	-	11.1	55.6	-	11.1	22.2	-	1,528.9
[19号]制作・編集・校正、DTPデザイン	82	100.0	3.7	6.1	17.1	39.0	25.6	7.3	1.2	1,469.4
[20号]広告デザイン	8	100.0	-	-	25.0	-	50.0	12.5	12.5	1,575.7
[WEBデザイン複合]WEBデザイン(19号or20号)、CGデザイン(19号or20号)、【その他クリエイティブ業務】	253	100.0	-	-	25.8	-	51.5	12.9	12.9	1,632.3
[21号]インテリアコーディネーター	7	100.0	-	14.3	28.6	14.3	42.9	-	-	1,448.6
[23号]OAインストラクター(ユーザーサポート・ヘルプデスクを含む)、【その他IT技術・通信系業務】	17	100.0	-	5.2	10.4	5.2	15.5	-	-	1,601.3
[24号]テレマーケティングの営業、オンライン取引コールセンター業務	201	100.0	10.0	19.4	29.4	25.4	12.9	1.0	2.0	1,306.2
[25号]セールスエンジニアの営業、資産運用提案業務、証券営業	31	100.0	-	6.5	19.4	9.7	9.7	51.6	3.2	1,814.0
[3、4、22、26号]放送関連業務	9	100.0	22.2	11.1	44.4	22.2	-	-	-	1,217.8
26業務平均										1,420.7

	調査数 (n)	全体	1000円未満	1000円未満	12000円未満	14000円未満	16000円未満	18000円以上	無回答	平均 (円)
[オフィス・その他] データ入力 (キー入力のみ)、庶務事務 (OA業務は含まず)、その他オフィス業務	1,354	100.0	16.2	23.2	27.3	21.2	10.1	1.6	0.4	1,246.7
[営業・その他サービス] その他営業・販売・サービス	326	100.0	14.4	33.1	27.0	15.6	5.5	3.1	1.2	1,215.8
[その他金融業務] 窓口・接客等の業務	111	100.0	9.0	13.5	23.4	31.5	16.2	6.3	-	1,389.0
[製造・軽作業] 製造 (ライン業務・生産管理等)、各種運転手、軽作業 (会場設営・引越し等)、倉庫内作業、その他製造・軽作業業務	322	100.0	43.2	34.2	15.5	4.3	1.6	1.2	-	1,035.3
[医療] (医療事務、医療関連業務、看護関連業務)	124	100.0	20.2	24.2	18.5	9.7	10.5	16.1	0.8	1,310.5
[介護・福祉] 介護・福祉関連業務	27	100.0	22.2	44.4	22.2	7.4	-	3.7	-	1,111.1
[その他専門職]	146	100.0	9.6	19.2	26.7	20.5	11.6	11.6	0.7	1,407.0
26業務以外平均										1,232.2

(3) 現在（または直近）の就業先において、働き始めてから昇給はありましたか？

「なかった」が72.6%、「あった」が27.4%となっている。
前年度と比べると、「あった」の割合はほぼ同様である。

「現在（または直近）の就業先において通算した就業期間（Q2(9)）（以下、通算就業期間）」でみると、「2年以上」になると「昇給があった」率が、全体の構成比率27.4%を上回っており、「2年以上3年未満」では33.4%、「3年以上5年未満」では58.2%と上昇している。通算就業期間が長くなるほど昇給を行う派遣元事業主が多くなる状況がうかがえる。



<通算就業期間別昇給の有無>

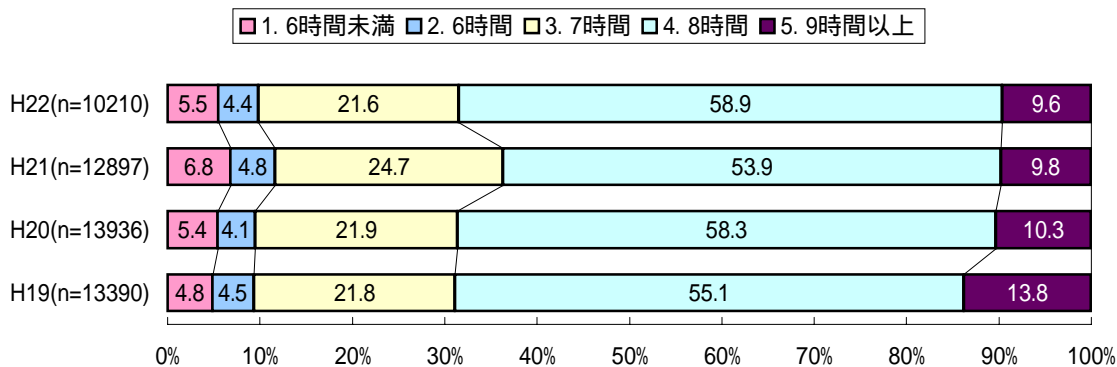
昇給の有無

通算就業期間
P15 Q2(9)

	調査数 (n)	全 体	あ っ た	な か っ た
全 体	10,210	100.0	27.4	72.6
2ヵ月以下	1,574	100.0	3.5	96.5
2ヵ月超6ヵ月未満	1,484	100.0	5.8	94.2
6ヵ月以上1年未満	1,501	100.0	9.8	90.2
1年以上2年未満	1,649	100.0	21.0	79.0
2年以上3年未満	1,481	100.0	33.4	66.6
3年以上5年未満	1,369	100.0	58.2	41.8
5年以上	1,152	100.0	75.7	24.3

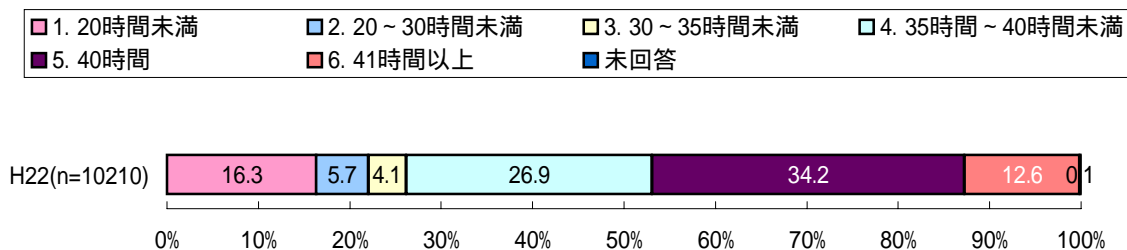
- (4) 現在（または直近）の勤務状況についてお答えください。
 a. 1日の平均勤務時間についてお答えください。

「8時間」が58.9%と最も多く、次いで「7時間」21.6%、「9時間以上」9.6%となっており、1日の平均勤務時間7時間以上が9割を占めている。全体平均すると、前年度と同様7.6時間である。



- b. 1週間の平均勤務時間についてお答えください。
 ※新規設問

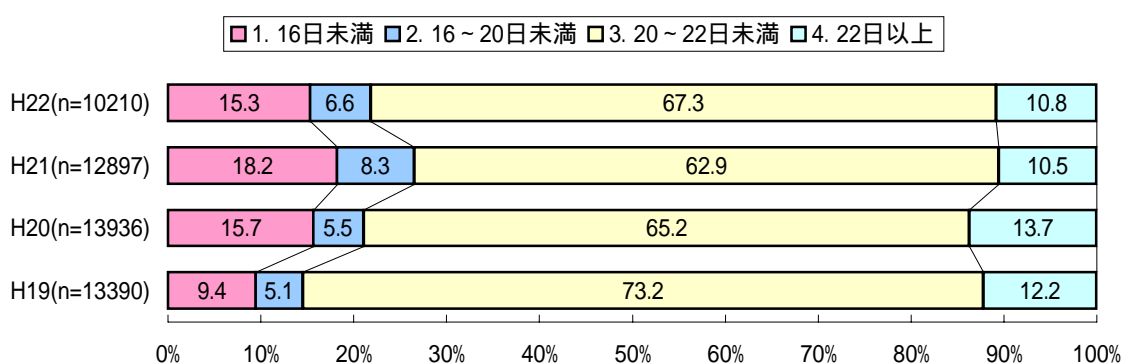
「40時間」が34.2%と最も多く、次いで「35時間～40時間未満」26.9%となっている。全体平均すると、33.7時間となっている。



c. 1ヵ月の平均勤務日数についてお答えください。

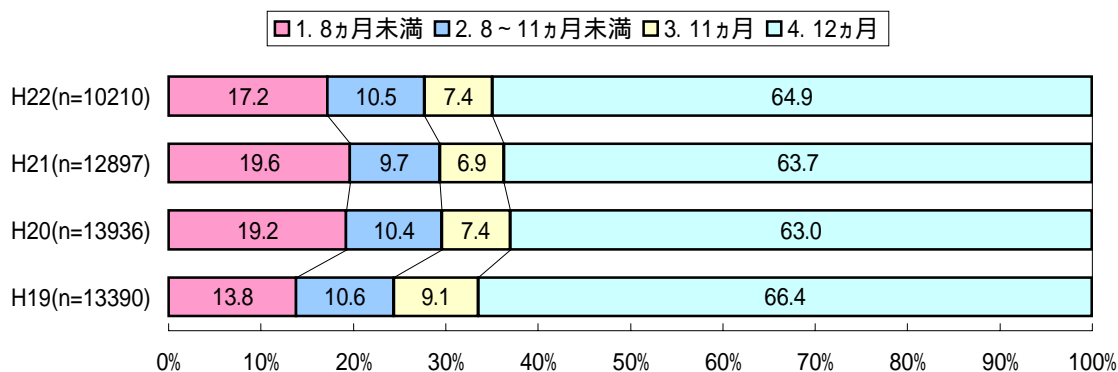
「20～22日未満」が67.3%と最も多く、次いで「16日未満」15.3%となっている。1ヵ月の平均勤務日数の「20日以上」が7割強を占めている。全体平均すると、18.4日となっている。前年度の全体平均は18.0日である。

前年度と比べると、1日平均勤務時間「8時間以上」と1ヵ月の平均勤務日数「20日以上」が回復しており、近年の経済不況に伴う派遣先の経営状況の悪化等による仕事量、業務量が持ち直していることがうかがわれる。（関連P23）。



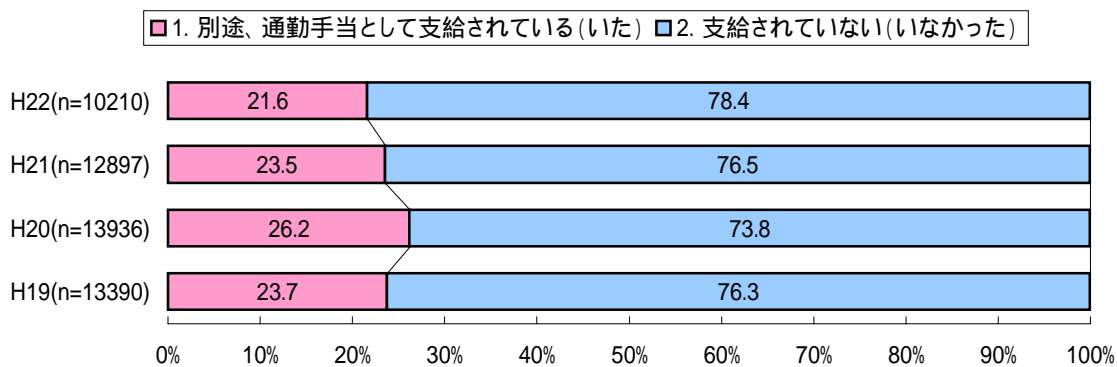
d. 1年間の実働月数についてお答えください。

「12ヵ月」が64.9%と最も多く、次いで「8ヵ月未満」17.2%、「8～11ヵ月未満」10.5%となっている。平均実働月数についてみると、10.1ヵ月となっている。前年度の平均は9.9ヵ月である。



(5) 通勤手当（交通費）は支給されていますか（いましたか）？

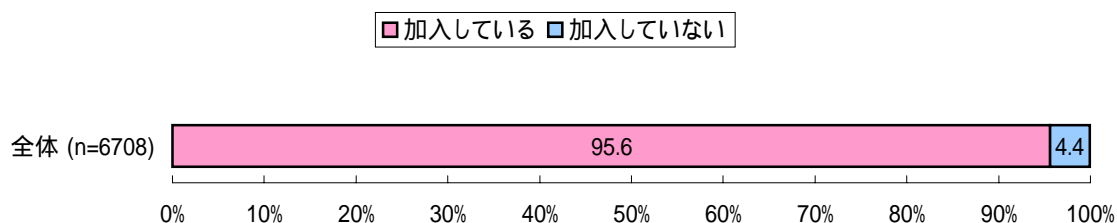
「支給されていない」が78.4%、「別途、通勤手当として支給されている」が21.6%となっている。
前年度と比べると、「支給されている」割合が減っている。



(6) 雇用保険には加入していますか（いましたか）？

被保険者資格要件を満たしている者（注）の雇用保険の加入状況は、「加入している」が95.6%、「加入していない」が4.4%となっている。

被保険者資格があると推測されるにもかかわらず雇用保険に加入していない人が4.4%みられることから、これらの者の加入の促進に努める必要がある。



※今年度から「被保険者資格者」について雇用保険の適用要件に沿った調査項目に変更したため、平成22年度のみ掲載とした。

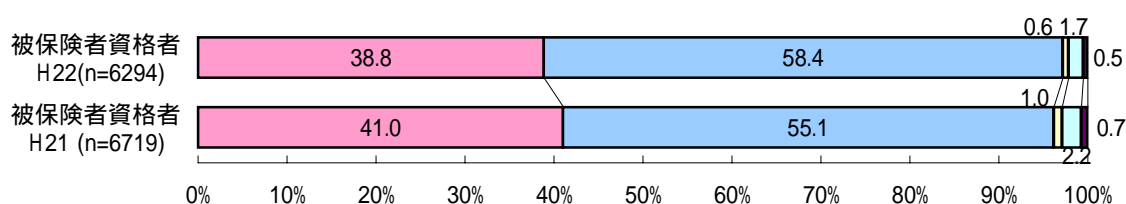
(注) 派遣労働者等の雇用保険の適用範囲が平成22年4月1日から拡大され、31日以上雇用見込みがあること及び1週間当たりの所定労働時間が20時間以上である就労者については、原則として雇用保険の被保険者とされている。そのため、できる限り実態に即した調査結果が反映できるよう調査項目にある契約内容が「1ヵ月未満」及び「1週20時間未満」の就労状況の者を除いた。

(7) 健康保険には加入していますか (いましたか) ?

被保険者資格要件を満たしている者 (注) の健康保険加入状況は、「人材派遣健康保険組合 (はけんけんぽ) に加入している」が58.4%と最も多く、次いで「派遣元の健康保険 (自分名義) に加入している」38.8%となっており、両者を合わせると97.2%となっている。

被保険者資格があると推測されるにもかかわらず健康保険に加入していない人が2.8%みられることから、これらの者の加入の促進に努める必要がある。

■ 派遣元の健康保険 ■ はけんけんぽ □ 配偶者の健康保険 □ 国民健康保険 ■ 加入していない

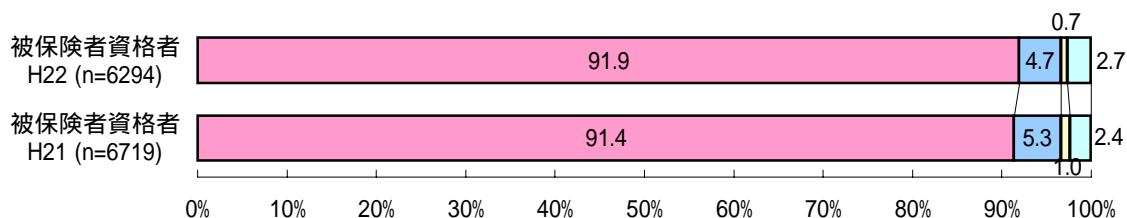


(8) 公的年金には加入していますか (いましたか) ?

被保険者資格要件を満たしている者 (注) の公的年金加入状況は、全体では、「派遣元会社の厚生年金 (自分名義) に加入している」が91.9%となっている。

被保険者資格があると推測されるにもかかわらず厚生年金に加入していない人が8.1%みられることから、これらの者の加入の促進に努める必要がある。

■ 派遣元の厚生年金 ■ 国民年金 □ 第3号被保険者 □ 加入していない



※昨年度から「被保険者資格者」について健康保険・公的年金の加入要件に沿った調査項目に変更したため、平成21年度以降の掲載とした。

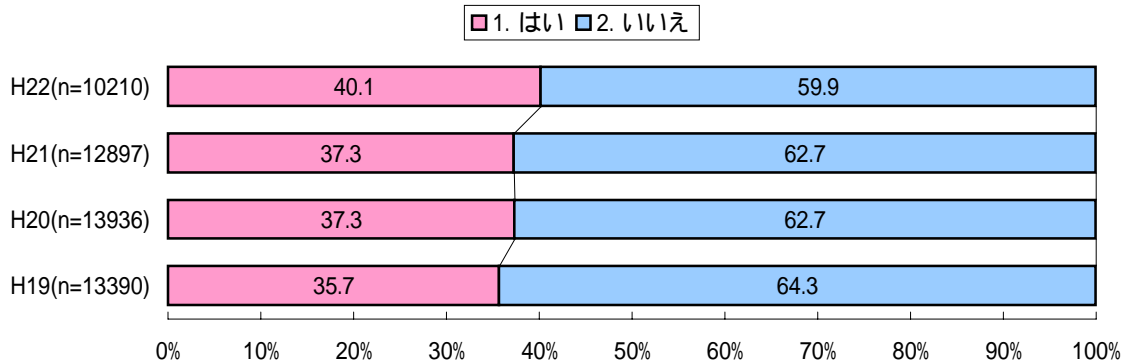
(注) 通常の就労者の所定労働時間及び所定労働日数の概ね4分の3以上である就労者については、原則として健康保険及び厚生年金保険の被保険者とされている。そのため、できる限り実態に即した調査結果が反映できるよう調査項目にある通算就業期間が「2ヵ月以下」及び4分の3基準に達しない「1日6時間未満」・「月16日未満」の就労状況の者を除いた。

(9) 家計の主たる担い手ですか？

「いいえ」が59.9%、「はい」が40.1%となっている。
前年度と比べると、「はい」が増加している（37.3%→40.1%[2.8ポイント]）。

「性別」で見ると、女性の場合、家計の主たる担い手は3割強に過ぎないが、男性の場合は、7割を占めており、加えて、30歳以上では年齢が高くなるほど家計の主たる担い手の占める割合も高くなっている。

「家族構成」で見ると、「独身（単身）」の場合だけが、家計の主たる担い手となっている比率が高くなっている。

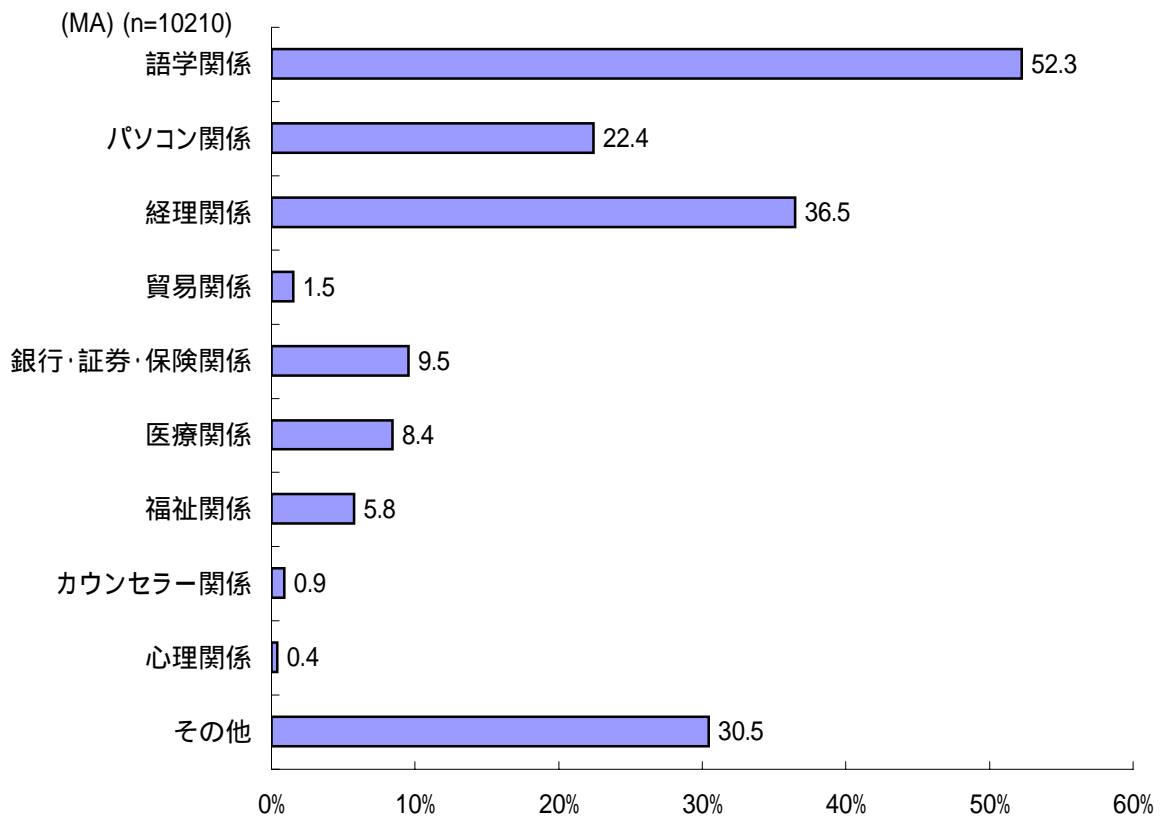


		調査数 (n)	全体	はい	いいえ
全体		10,210	100.0	40.1	59.9
女性全体		9,028	100.0	35.8	64.2
男性全体		1,182	100.0	72.7	27.3
女性年齢別	19歳以下	10	100.0	-	100.0
	20～24歳	183	100.0	27.9	72.1
	25～29歳	1,362	100.0	32.7	67.3
	30～34歳	2,374	100.0	34.8	65.2
	35～39歳	2,353	100.0	36.3	63.7
	40～49歳	2,390	100.0	38.8	61.2
	50歳以上	356	100.0	37.1	62.9
男性年齢別	19歳以下	5	100.0	40.0	60.0
	20～24歳	54	100.0	27.8	72.2
	25～29歳	152	100.0	49.3	50.7
	30～34歳	245	100.0	68.6	31.4
	35～39歳	196	100.0	71.4	28.6
	40～49歳	290	100.0	79.3	20.7
	50歳以上	240	100.0	95.4	4.6
独身(単身)		3,000	100.0	79.3	20.7
独身(家族同居)		2,960	100.0	29.8	70.2
既婚		4,250	100.0	19.6	80.4

Q. 5 能力開発・キャリア形成

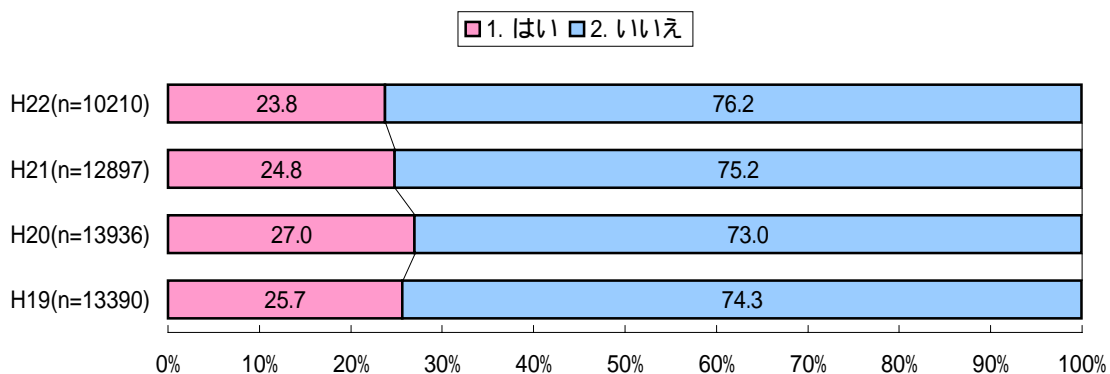
(1) 現在所有している資格があればお答えください。(複数回答可)

現在所有している資格をカテゴリー別で見ると、「語学関係」が52.3%と最も多く、次いで「経理関係」36.5%、「その他」30.6% (ex. 学芸員、調理師、カラーコーディネーター等) となっている。



(2) 派遣会社で研修・教育訓練を受けたことはありますか？

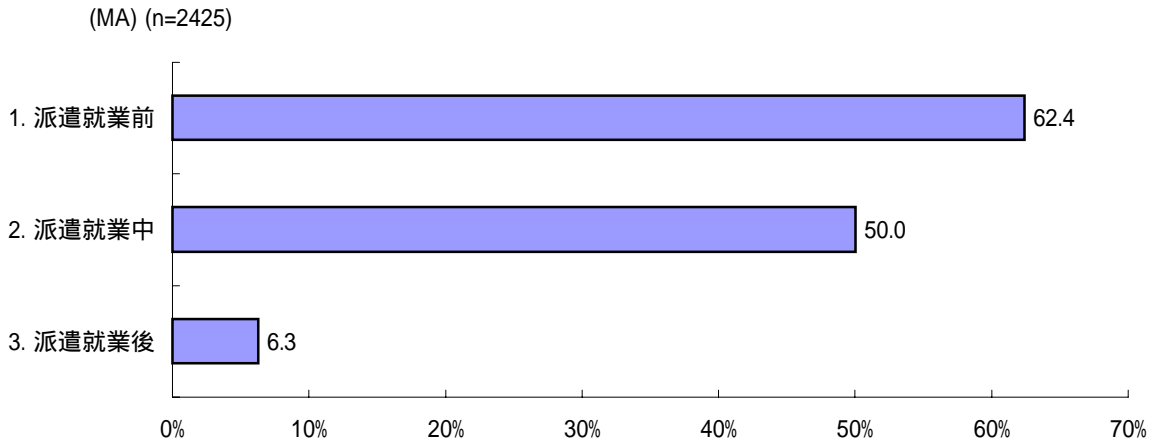
「いいえ」が76.2%、「はい」が23.8%となっている。
前年度と比べると、「はい」が若干減っている。



(2) で1を選択した方はお答えください。

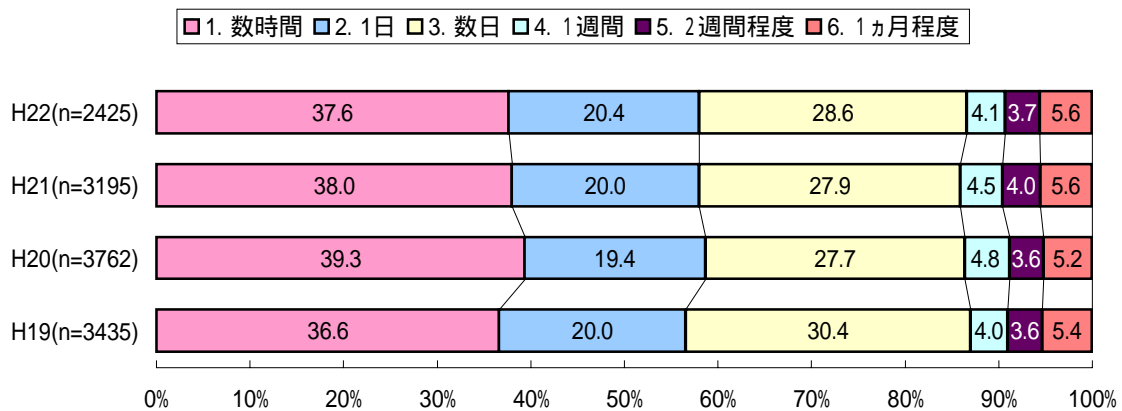
(2) - a - a : 教育訓練はいつ頃行われましたか? (複数回答可)

「研修・教育訓練を受けたことがある」と回答した者に、いつ行われたかを尋ねた結果、「派遣就業前」が62.4%と最も多く、次いで「派遣就業中」50.0%となっている。



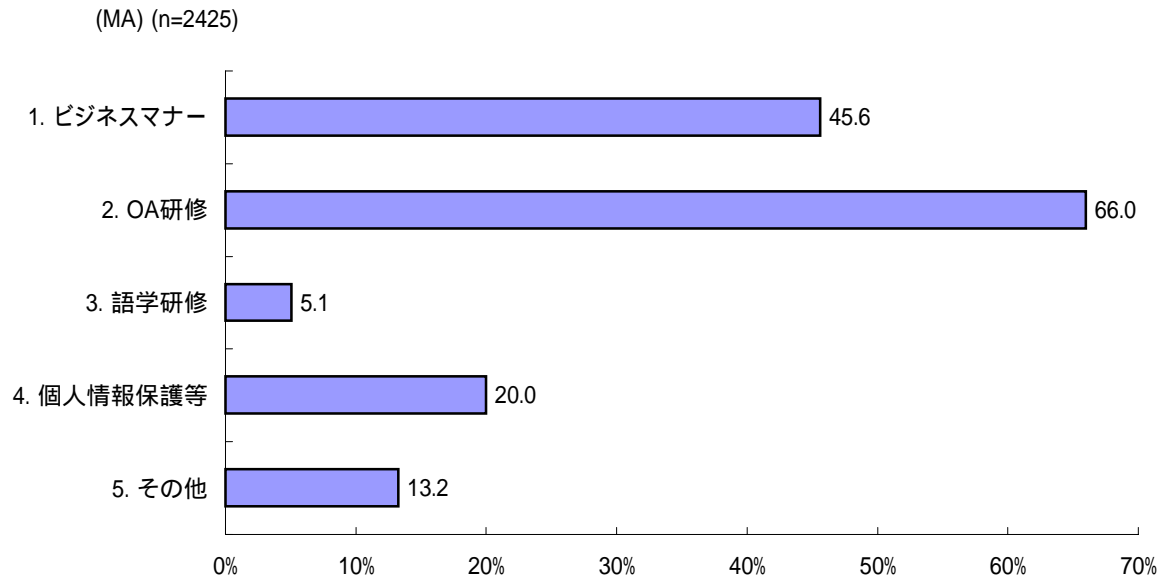
(2) - a - b : 教育訓練の期間はどのくらいでしたか?

「研修・教育訓練を受けたことがある」と回答した者に、期間を尋ねた結果、「数時間」が37.6%と最も多く、次いで「数日」28.6%、「1日」20.4%となっている。
前年度と比べると、ほぼ同様である。



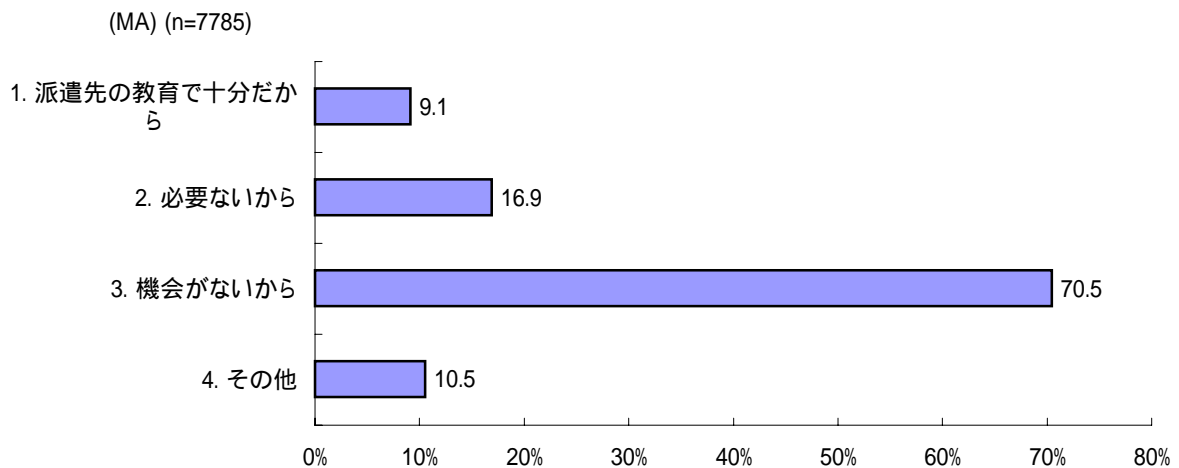
(2) - a - c : 教育訓練の内容はどのようなものでしたか？ (複数回答可)

「研修・教育訓練を受けたことがある」と回答した者に、その内容を尋ねた結果、「OA研修」が66.0%と最も多く、次いで「ビジネスマナー」45.6%、「個人情報保護等」20.0%となっている。



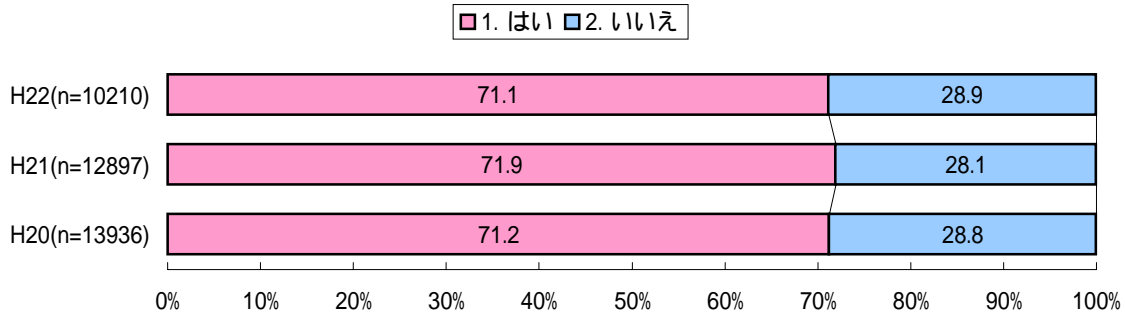
(2) で2を選択した方はお答えください。
(2) - b - a : 教育訓練を受けない (受けなかった) のはなぜですか？ (複数回答可)

「研修・教育訓練を受けたことがない」と回答した者に、その理由を尋ねた結果、「機会がないから」が70.5%と他を大きく上回った。派遣会社としては、派遣スタッフが教育訓練を希望した場合に備えて、施策を効果的に講じる必要がある。



(3) 能力開発・キャリア形成を希望していますか？

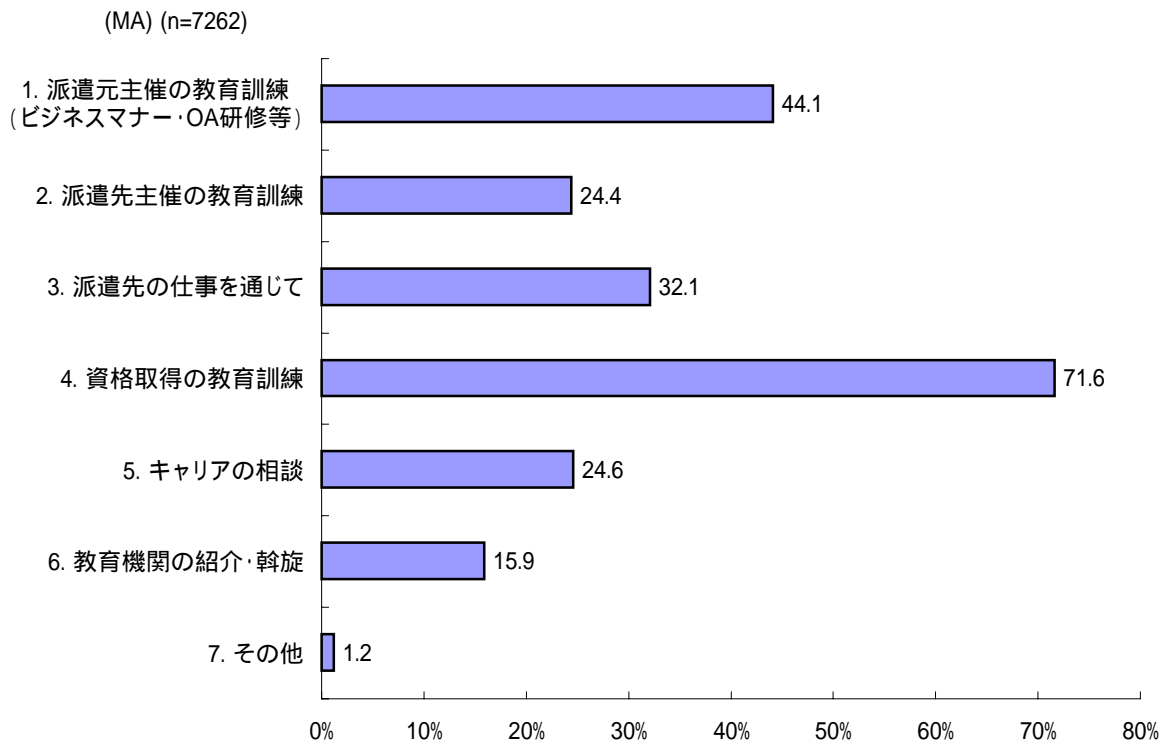
「はい」が71.1%と多く、「いいえ」は28.9%となっている。
前年度と比べると、「はい」が若干減っている。



(3) で1を選択した方はお答えください。

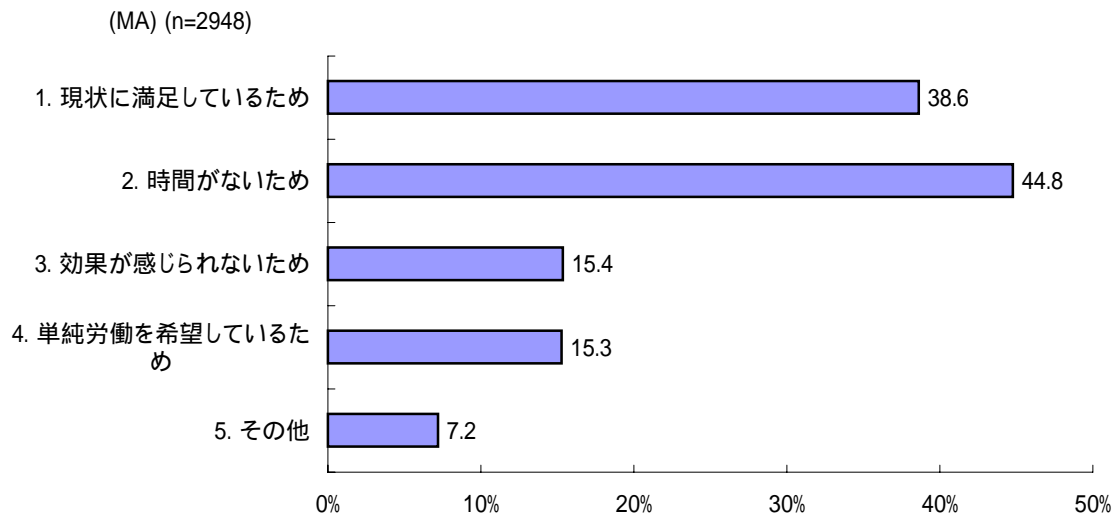
(3) - a : どのような内容を希望しますか？ (複数回答可)

「能力開発・キャリア形成を希望する」と回答した者に、その希望する内容を尋ねた結果、「資格取得の教育訓練」が71.6%と最も多く、次いで「派遣元主催の教育訓練」44.1%、「派遣先の仕事を通じて」32.1%となっている。



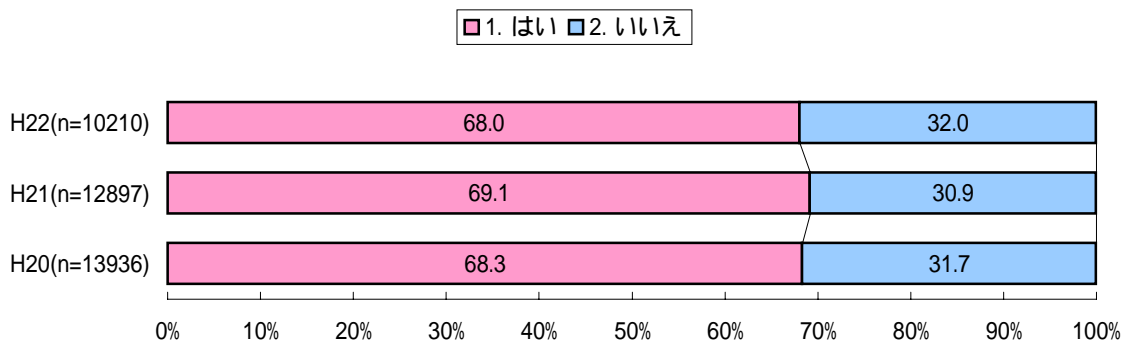
- (3) で2を選択した方はお答えください。
 (3) - b : 希望しないのはなぜですか? (複数回答可)

「能力開発・キャリア形成を希望しない」と回答した者に、希望しない理由を尋ねた結果、「時間がないため」が44.8%と最も多く、次いで「現状に満足しているため」38.6%となっている。多くの方が自身としての能力開発に希望があるものの時間的な制約がネックとなっていることがうかがわれることから、スタッフとのコミュニケーションの中で時間を見出す工夫等について話し合うことも必要である。



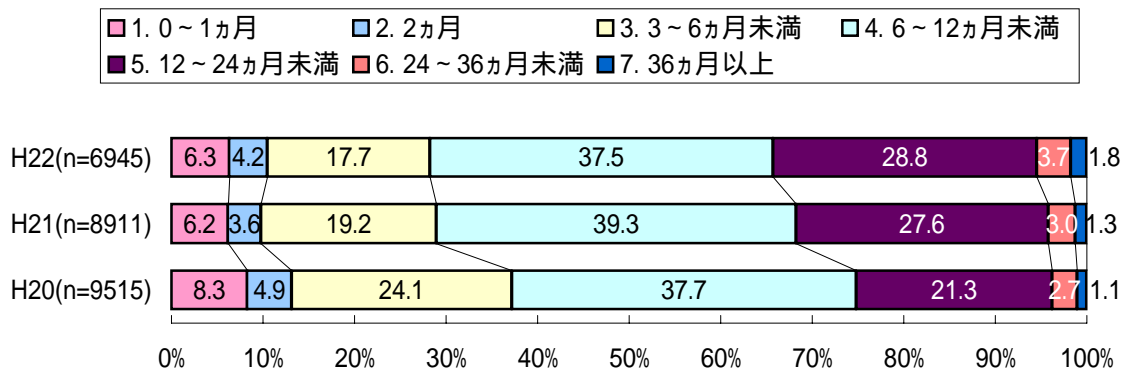
- (4) 派遣就労したことでスキルアップできる (できた) と感じますか?

「はい」が68.0%、「いいえ」が32.0%となっている。
 回答者の3人に2人の方は派遣就労したことがスキルアップにつながっていると感じている。
 前年度と比べると、ほぼ同様である。



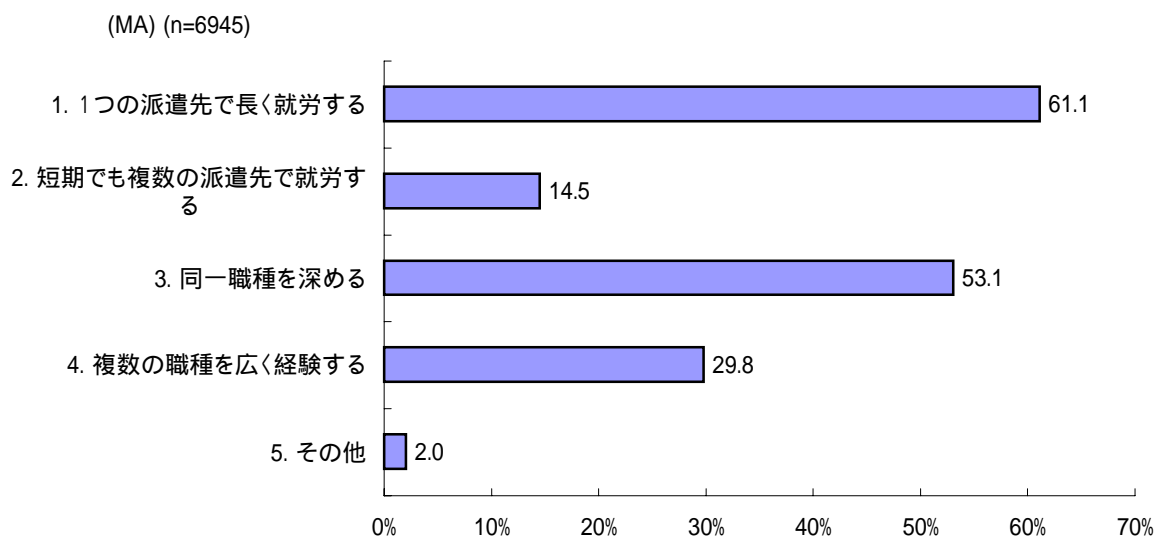
- (4) で1を選択した方はお答えください。
 (4) - a : スキルアップができる (できた) と実感するには就労後どのくらいの期間が必要ですか？

「派遣就労したことでスキルアップできる (できた)」と回答した者に、実感するまでの期間を尋ねた結果、「6～12ヵ月 (1年) 未満」が37.5%と最も多く、次いで「12～24ヵ月 (2年) 未満」28.8%、「3～6ヵ月未満」17.7%となっている。
 前年度と比べると、「12ヵ月以上」の割合が増えている。
 平均についてみると、平成22年度は8.2ヵ月、平成21年度7.8ヵ月、平成20年度7.0ヵ月であった。



- (4) - a - a : あなたが希望するスキルアップの方法を教えてください。
 (複数回答可)

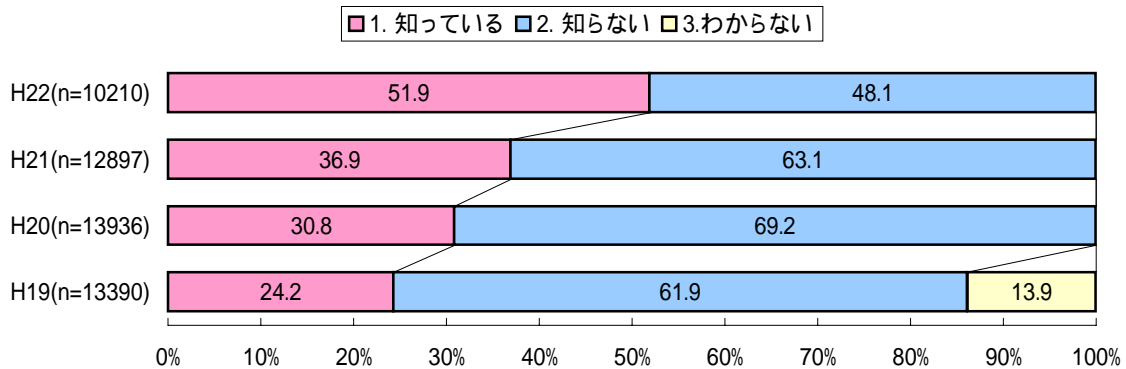
「派遣就労したことでスキルアップできる (できた)」と回答した者に、スキルアップの方法を尋ねた結果、「1つの派遣先で長く就労する」が61.1%と最も多く、次いで「同一職種を深める」53.1%、「複数の職種を広く経験する」29.8%となっている。
 同じ就業先で「長く」「深める」ことが派遣就業でスキルアップしていく上で有効であることがうかがえる。



Q. 6 派遣法に関すること

- (1) 派遣で働ける業務には、専門性の高い26業務と26業務以外の業務があることをご存知ですか？

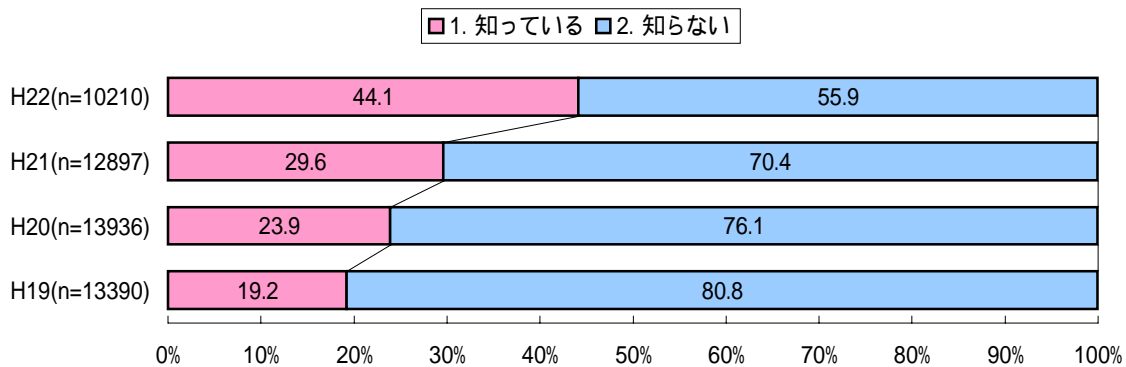
「知っている」が51.9%、「知らない」が48.1%となっている。
各年度の状況についてみると、「知っている」の割合が年ごとに増加し、今年度は半数を上回った。



※平成20年度から「わからない」という回答選択肢を削除。

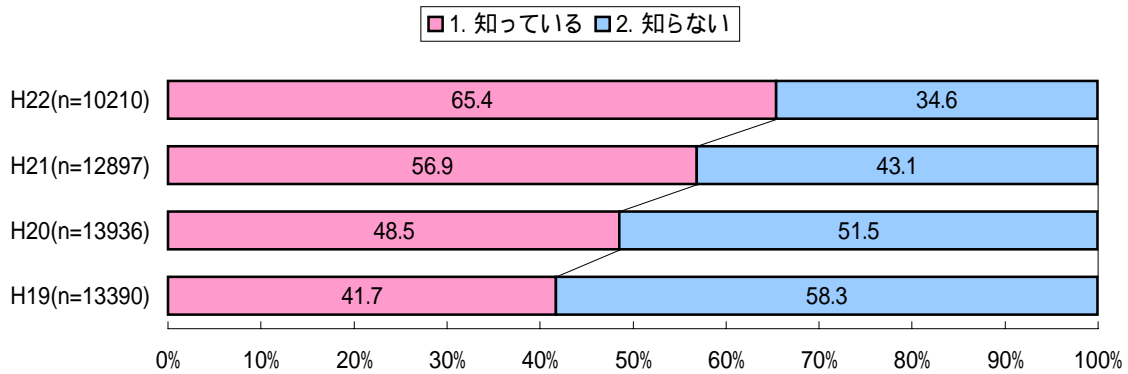
- (2) 26業務の場合、派遣で働ける期間に制限がないことをご存知ですか？

「知らない」が55.9%、「知っている」が44.1%となっている。
各年度の状況についてみると、「知っている」の割合が年ごとに増加しており、今年度は大幅に上昇している。



(3) 26業務以外の場合、派遣で働ける期間が同じ就業先で最大3年であることはご存知ですか？

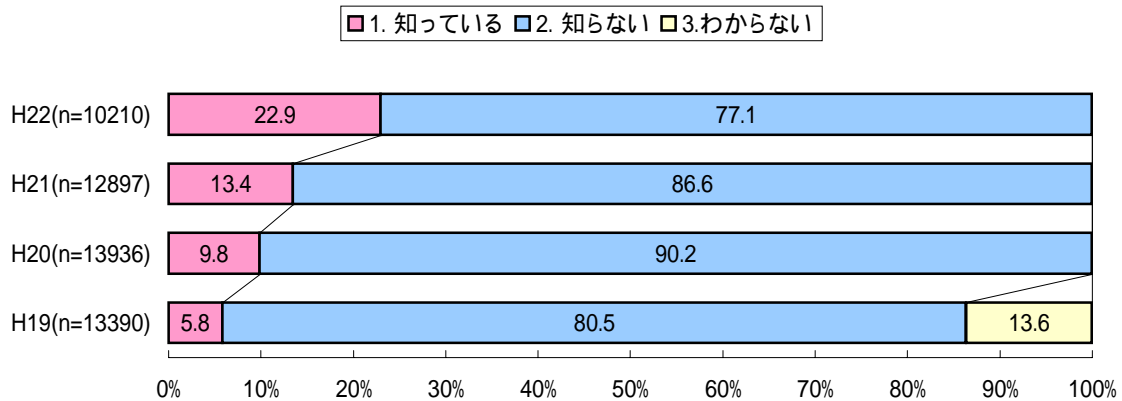
「知っている」が65.4%、「知らない」が34.6%となっており、「知っている」の割合は年々上昇し、6割を超えた。



(4) 26業務と26業務以外の業務が混在する場合、各業務の割合によって、派遣で働ける期間が異なることはご存知ですか？

「知らない」が77.1%、「知っている」が22.9%となっている。各年度の状況についてみると、「知っている」の割合が年ごとに増加しており、今年度は大幅に上昇している。

派遣法に関する質問を通して、派遣労働者の労働者派遣法についての理解が年々高まってきていることがうかがわれるが、派遣会社としては、一層の周知の機会を設けていくことが求められる。

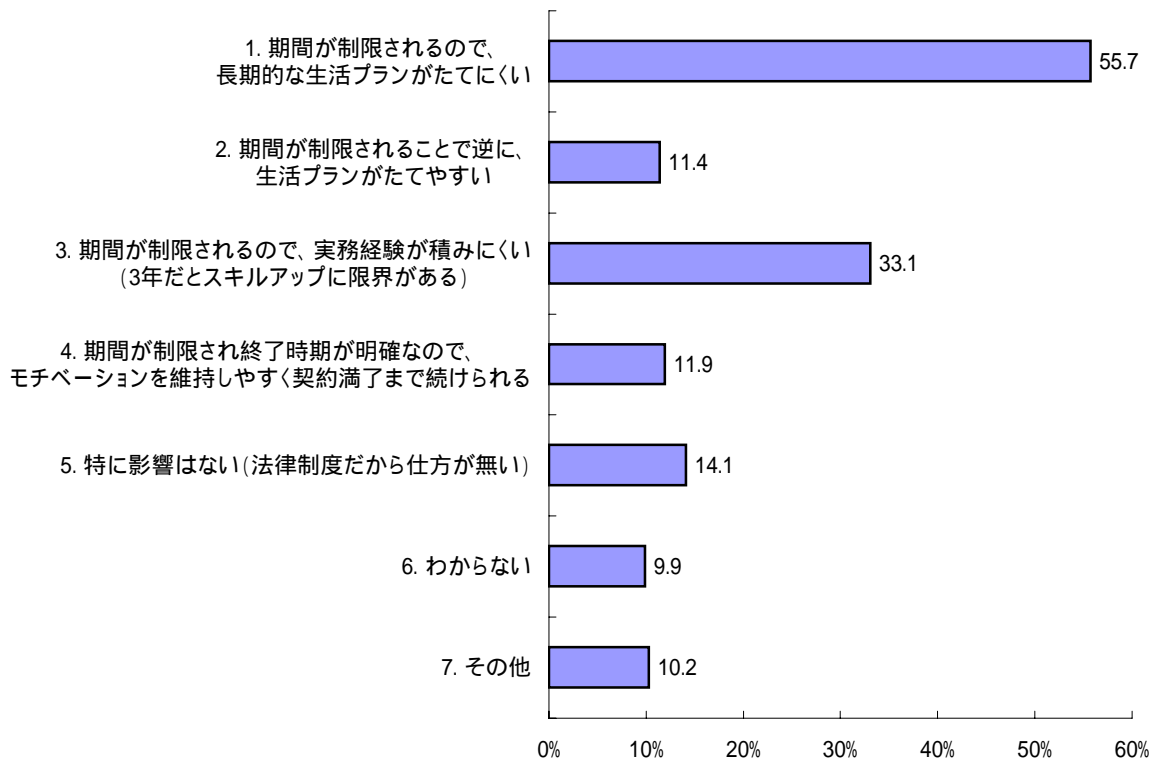


※平成20年度から「わからない」という回答選択肢を削除。

(5) 派遣で働ける期間が制限されていることについてどうお考えですか？
(複数回答可)

「期間が制限されるので、長期的な生活プランがたてにくい」が55.7%と最も多く、次いで「期間が制限されるので、実務経験が積みにくい（3年だとスキルアップに限界がある）」33.1%、「特に影響はない（法律制度だから仕方が無い）」14.1%、「期間が制限され終了時期が明確なので、モチベーションを維持しやすく契約満了まで続けられる」11.9%となっている。

(MA) (n=10210)

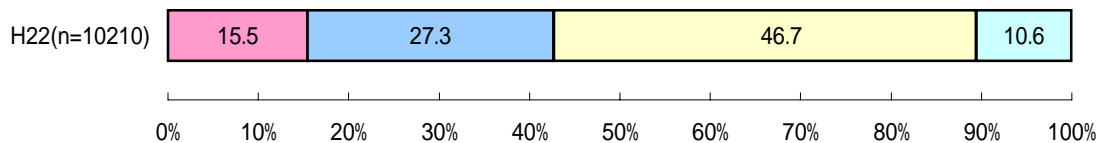


(6) 現在、労働者派遣法の改正（登録型派遣、製造業務派遣及び日雇派遣の原則禁止等）が行われようとしておりますが、賛成ですか、反対ですか？
※新規設問

「どちらともいえない」が46.7%と最も多く、次いで「反対」27.3%、「賛成」15.5%となっている。

「どちらともいえない」と回答した者について、後述の「派遣で働いていることへの満足度(P48 Q8)」における「派遣という働き方（システム）」との関係を見ると、現在の働き方に積極的に不満を持っていない回答者が7割強となっている。

■ 1. 賛成 ■ 2. 反対 ■ 3. どちらともいえない ■ 4. わからない



(参考)

<法改正の賛否別派遣という働き方（システム）の満足度>

派遣という働き方（システム） P48 Q8-11

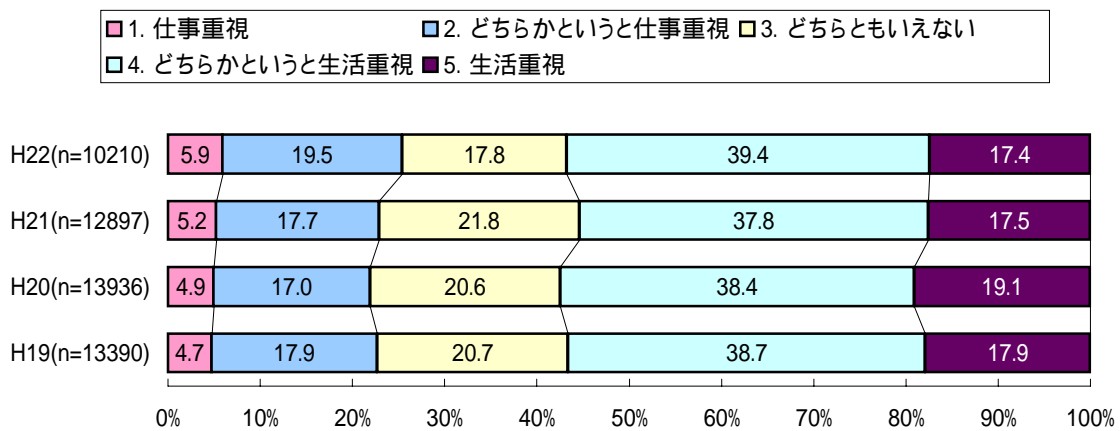
	調査数 (n)	全体	満足	まあ満足	どちらでもない	やや不満	不満
全体	10,210	100.0	7.8	30.2	33.4	15.8	12.8
賛成	1,579	100.0	5.4	18.4	25.5	20.0	30.8
反対	2,784	100.0	12.9	37.4	28.8	12.7	8.3
どちらともいえない	4,769	100.0	5.9	30.2	37.8	16.5	9.6
わからない	1,078	100.0	6.8	29.0	37.4	14.8	12.0

法改正の賛否

Q.7 仕事と生活のバランス

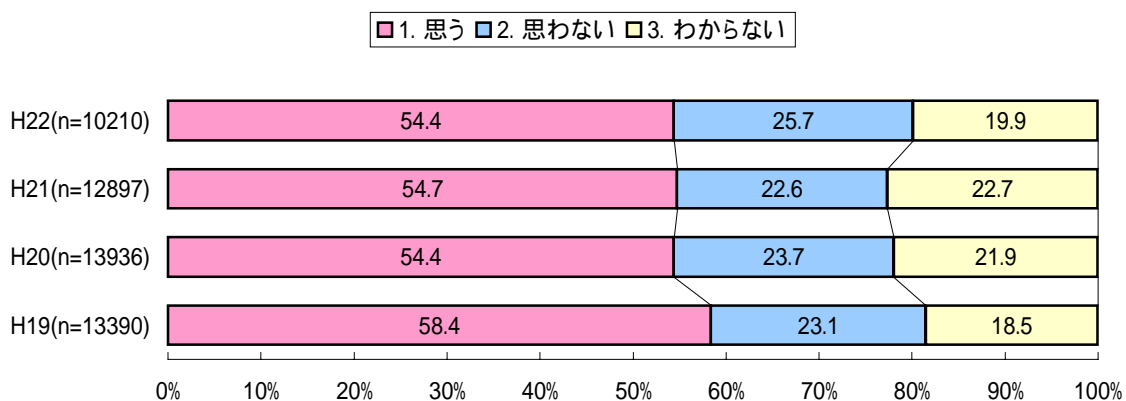
(1) 仕事と生活を比べると、どちらを重視していますか？

「どちらかという和生活重視」と「生活重視」を合わせると56.8%、「仕事重視」と「どちらかという和工作重視」を合わせると25.4%となっており、「仕事重視」よりも「生活重視」を考えている派遣スタッフが多いことがうかがえる。



(2) 派遣という働き方は、仕事と生活のバランスを取りやすい働き方だと思いますか？

「思う」が54.4%、「思わない」が25.7%となっている。
回答者の2人に1人の方がワークライフバランスの観点からも派遣という働き方を選択していることがうかがわれる。
前年度と比べると、ほぼ同様である。



Q. 8 派遣で働いていることへの満足度

派遣で働いていることへの満足度をみていく。

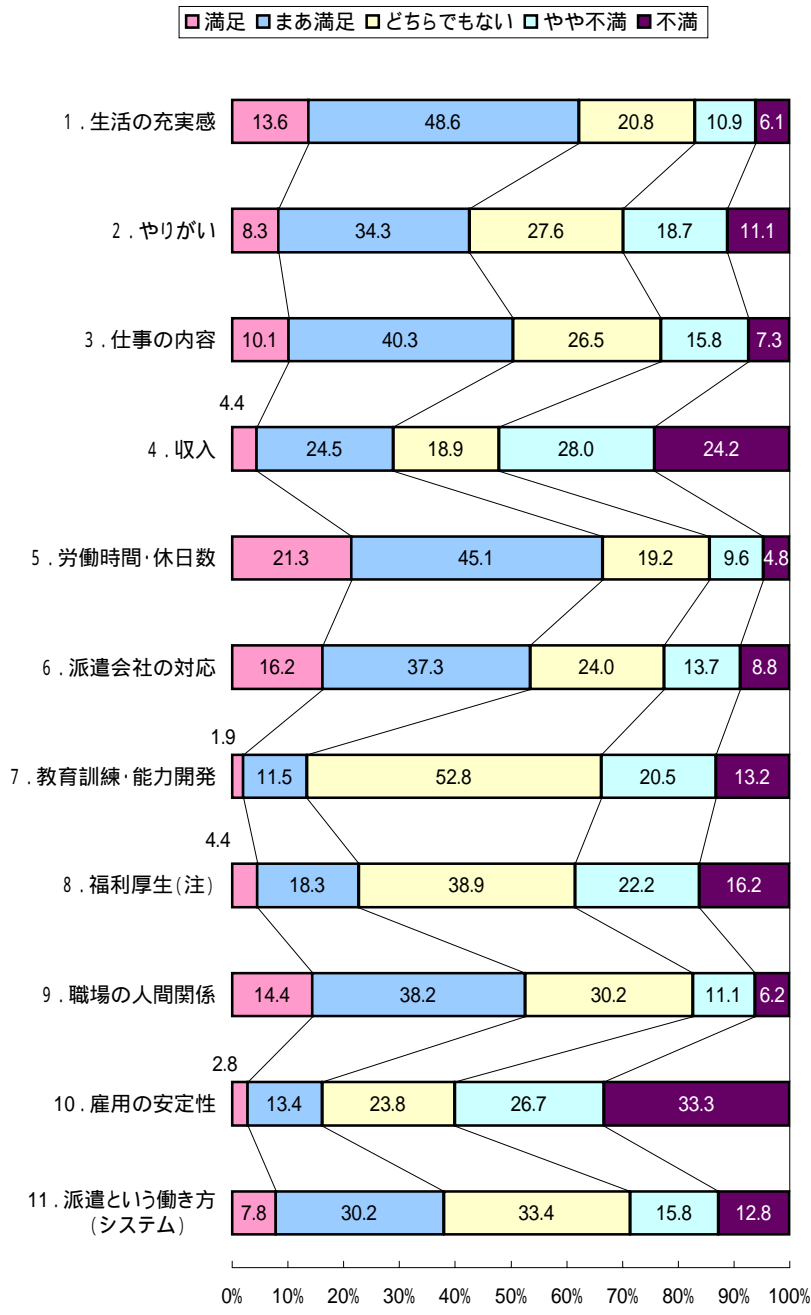
満足度が高いのは、「5. 労働時間・休日数」68.6ポイント（満足21.3%、まあ満足45.1%、満足計 66.4%）、「1. 生活の充実感」52.7ポイント（満足13.6%、まあ満足48.6%、満足計 62.2%）、「9. 職場の人間関係」43.4ポイント（満足14.4%、まあ満足38.2%、満足計 52.5%）、「6. 派遣会社の対応」38.5ポイント（満足16.2%、まあ満足37.3%、満足計 53.5%）、「3. 仕事の内容」30.1ポイント（満足10.1%、まあ満足40.3%、満足計 50.4%）、「2. やりがい」9.9ポイント（満足8.3%、まあ満足34.3%、満足計 42.6%）、「11. 派遣という働き方（システム）」4.4ポイント（満足7.8%、まあ満足30.2%、満足計 38.0%）となっている。

満足度が低いのは、「10. 雇用の安定性」-74.5ポイント（やや不満26.7%、不満33.3%、不満計 60.1%）、「4. 収入」-43.0ポイント（やや不満28.0%、不満24.2%、不満計 52.2%）、「7. 教育訓練・能力開発」-31.6ポイント（やや不満20.5%、不満13.2%、不満計 33.8%）、「福利厚生」-27.5ポイント（やや不満22.2%、不満16.2%、不満計 38.4%）となっている。

以上の満足度指数（ポイント）を、「派遣を選んだ理由（Q2(2)）」中の「正社員として働ける就職先がなかったため」で見ると、全体の満足度の高いポイントは総じて低くなり、満足度がマイナスになる項目はよりマイナスになっている。

他方、「正社員として働ける就職先がなかったため」を除き、派遣を積極的に選択したと思われる理由とのクロスでは、逆の指数となる。具体的には、「1. 生活の充実感」「2. やりがい」「3. 仕事の内容」「5. 労働時間・休日数」「6. 派遣会社の対応」「9. 職場の人間関係」「11. 派遣という働き方（システム）」で満足度が大きくプラスとなっている。派遣元としては、派遣就労を選択した理由や動機に着目し、適切な対応が肝要と思われる。

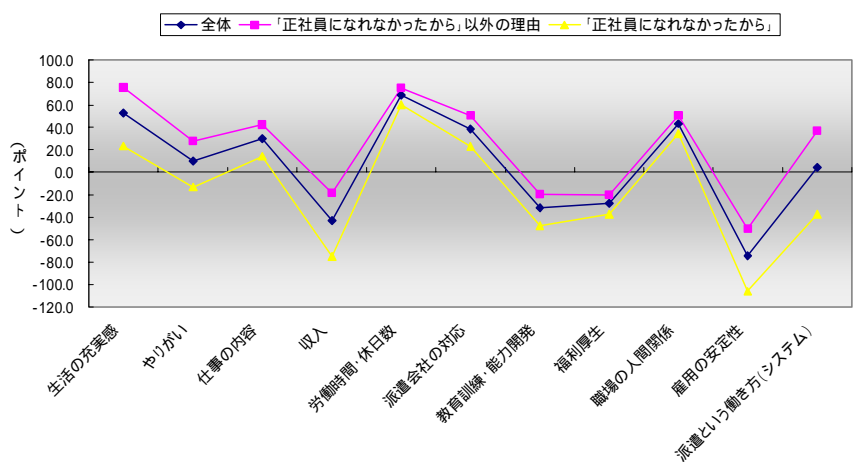
※ 満足度指数（ポイント）の算定は、回答者の中に占める各満足・不満足の数合いを選択した人数の割合（%）を出し、一定の指数を乗じて、それぞれを合計した数値である。計算上は、最大+200から最小-200の幅がある。



派遣を選んだ理由

合計	正社員以外	正社員
52.7	75.4	23.4
9.9	27.7	-12.9
30.1	42.4	14.2
-43.0	-18.3	-74.9
68.6	75.1	60.3
38.5	50.5	22.9
-31.6	-19.3	-47.6
-27.5	-20.0	-37.2
43.4	50.3	34.5
-74.5	-50.1	-105.9
4.4	36.8	-37.3

ポイント幅：
[+200 ← → -200]



ポイント算出式：
 満足の割合 (%) × 2
 まあ満足の割合 (%) × 1
 どちらでもないの割合 (%) × 0
 やや不満の割合 (%) × -1
 不満の割合 (%) × -2
 合計

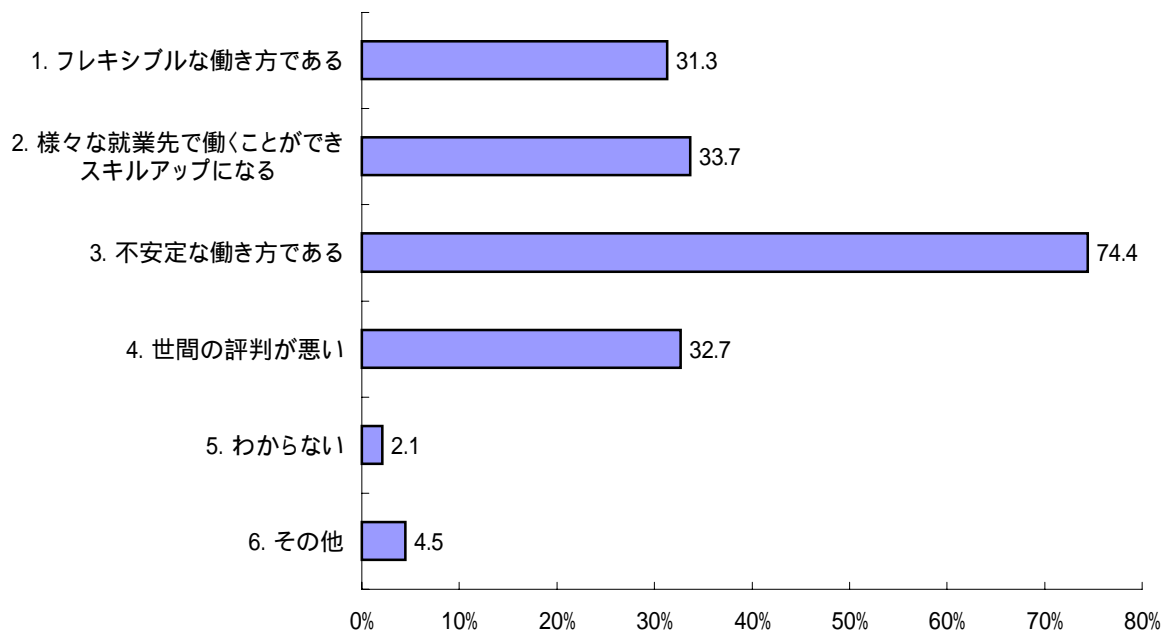
注：この「福利厚生」とは法定の社会保険等ではなく、保養所・社員食堂など施設の利用等である

Q. 9 派遣に対するイメージについて

(1) 派遣という働き方にどのようなイメージをお持ちですか？（複数選択可）

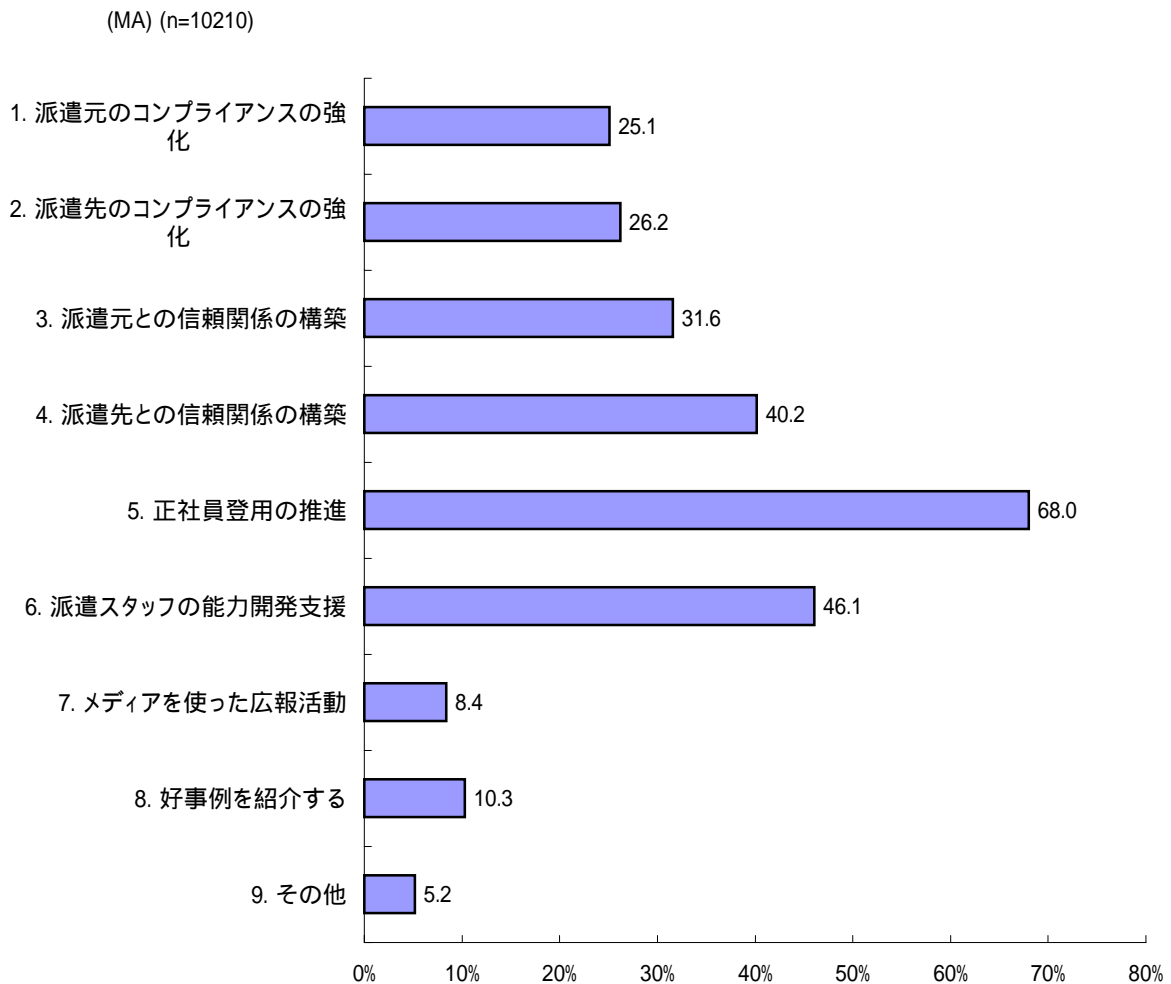
「不安定な働き方である」が74.4%と最も多く、次いで「様々な就業先で働くことができスキルアップになる」33.7%、「世間の評判が悪い」32.7%となっている。

(MA) (n=10210)



(2) 「派遣」の社会的地位を向上させるにはどのような方策が必要と思いますか？
(複数選択可)

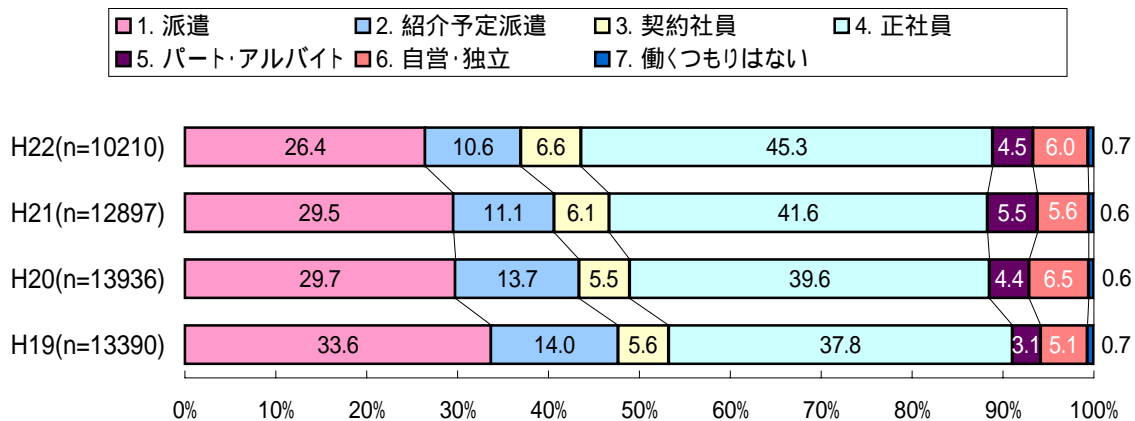
「正社員登用の推進」が68.0%と最も多く、次いで「派遣スタッフの能力開発支援」46.1%、「派遣先との信頼関係の構築」40.2%となっている。社会的地位の向上のためには、派遣というシステムが、派遣スタッフの希望する働き方に応じて、「直接雇用への橋渡し」として機能するように積極的に応えていく取り組みが必要と考えられる。



Q. 10 今後の希望する働き方について

(1) 今後、どのような働き方を望みますか？

「正社員」が45.3%と最も多く、次いで「派遣」26.4%、「紹介予定派遣」10.6%、「契約社員」6.6%となっている。
 希望する働き方を集約すると、「派遣を希望」するが37.0%、「直接雇用を希望」するが56.3%と分かれる。なお、派遣を希望するとする区分の中には紹介予定派遣の10.6%も含まれていることから、派遣労働者のキャリアデザインを踏まえ、その実現に向けた支援が求められている。
 前年度と比べると、「正社員」を希望する派遣スタッフが増えている。



※希望する働き方を集約した項目として、
 「派遣を希望」は、「派遣」「紹介予定派遣」を含み、
 「直接雇用を希望」は、「正社員」「契約社員」「パート・アルバイト」を含む。

「派遣を選択した理由」別に今後の働き方についてみると、「紹介予定派遣」、「契約社員」「パート・アルバイト」を希望する回答者の割合には大きな差はみられない。しかし、派遣で働く理由として「選択肢の多様性や自由度」を選択した回答者は今後の働き方としても「派遣」を希望する率が高く、逆に、「有名企業・大企業で働けるため」「正社員として働ける就職先がなかったため」「就職活動のつなぎに働けるため」に派遣を選択した人は、「正社員」になることを希望する率が高くなっている。

<派遣を選んだ理由別今後の働き方>

今後の働き方の希望

	調査数 (n)	全体	派遣	紹介予定派遣	契約社員	正社員	パート・アルバイト	自営・独立	働くつもりはない
全体	10,210	100.0	26.4	10.6	6.6	45.3	4.5	6.0	0.7
専門的スキルを活かせるため	1,626	100.0	27.4	13.0	8.0	39.9	2.9	7.9	1.0
時間を有効に活用できるため	3,419	100.0	36.3	10.7	7.5	31.6	5.5	7.8	0.6
働く期間・時間を自分で決められるため	3,956	100.0	37.2	10.8	7.2	30.7	6.2	7.2	0.6
多数の中からやりたい仕事を選べるため	2,575	100.0	33.2	14.1	6.7	35.5	4.0	6.2	0.3
生活設計がしやすいため	1,003	100.0	39.4	11.6	6.1	27.3	5.9	9.1	0.7
勤務地を自分で選べるため (通勤時間が短いため)	2,761	100.0	35.5	11.6	7.2	35.0	4.7	5.4	0.6
職場の人間関係に拘束されないため	2,128	100.0	37.4	12.2	7.0	32.2	3.7	7.1	0.4
有名企業・大企業で働けるため	1,630	100.0	25.4	13.4	7.2	46.3	1.9	5.2	0.6
正社員として働ける就職先がなかったため	4,458	100.0	12.8	11.8	5.4	62.8	1.9	4.7	0.5
賃金が高いため	1,999	100.0	32.6	11.1	6.2	37.8	6.2	5.9	0.4
勤務評価が適切なため	240	100.0	37.5	12.5	7.1	33.3	2.1	7.1	0.4
スキルアップになるため	1,786	100.0	28.9	13.9	5.7	42.3	2.6	6.3	0.3
教育訓練があるため	209	100.0	31.6	17.2	5.3	36.4	1.9	7.7	-
就職活動のつなぎに働けるため	1,494	100.0	8.8	11.3	5.4	64.5	2.6	7.3	0.1
組織にしばられないため	1,881	100.0	41.3	11.6	6.3	26.0	3.9	10.4	0.5
ライフスタイルが変わったため (結婚、子育て、定年等)	2,205	100.0	36.5	9.2	8.3	33.7	6.5	5.1	0.7
その他	442	100.0	19.0	6.1	6.3	56.6	3.6	7.7	0.7

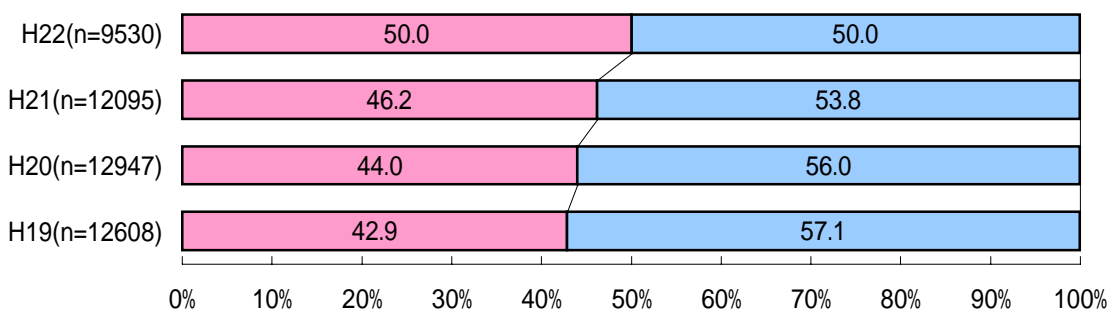
派遣を選んだ理由P8 Q2(2)

- (1)で 1. 派遣 2. 紹介予定派遣 3. 契約社員 4. 正社員
5. パート・アルバイトを選択した方はお答えください。
(1) - a それは現在（または直近）の就業先ですか？

今後の働き方の希望について「派遣」「紹介予定派遣」「契約社員」「正社員」「パート・アルバイト」と回答した者に、現在の就業先を希望しているかを尋ねた結果、「はい（現在または直近の就業先を希望）」が50.0%、「いいえ（現在または直近の就業先以外を希望）」が50.0%であった。

「今後の働き方の希望」でみると、引き続き、「派遣」を希望する回答者は「現在または直近の就業先」を希望する割合が多く、69.9%を占めている。他方、将来、「紹介予定派遣」を希望する回答者は、「現在または直近の就業先以外」を希望する割合が最も多く、65.5%である。紹介予定派遣を希望する者の現在の就業環境の把握や仕事に対する意向等を聴取するなどの配慮が肝要とみられる。

■ 1. はい（現在または直近の就業先を希望） ■ 2. いいえ（現在または直近の就業先以外を希望）



<今後の働き方の希望別就業先希望の可否>

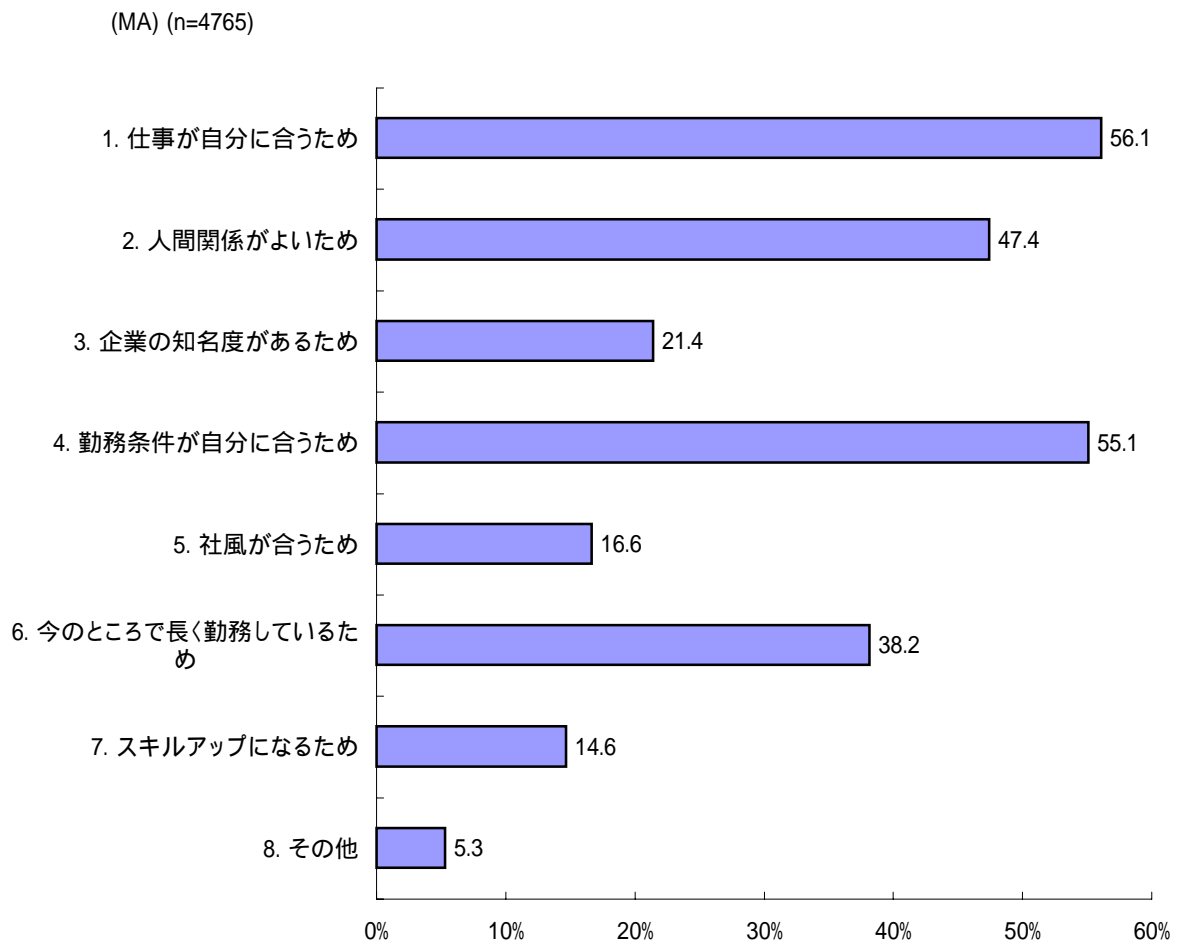
就業先希望の可否

	調査数 (n)	全体	はい (就業先を現在または直近の)	いいえ (就業先以外を現在または直近の)
全体	9,530	100.0	50.0	50.0
派遣	2,699	100.0	69.9	30.1
紹介予定派遣	1,078	100.0	34.5	65.5
契約社員	672	100.0	51.6	48.4
正社員	4,626	100.0	43.2	56.8
パート・アルバイト	455	100.0	35.4	64.6

今後の働き方の希望P52 Q10(1)

- (1) - a で 1. を選択した方のみお答えください。
 (1) - a - a : その理由をお答えください。(複数選択可)

「はい(現在または直近の就業先を希望)」と回答した者に、その理由について尋ねた結果、「仕事が自分に合うため」が56.1%と最も多く、次いで「勤務条件が自分に合うため」56.1%、「人間関係がよいため」47.4%となっている。
 「現在の就業先を希望する」と回答した者についてみると、上記の3つの理由を共通にあげているのが特徴である。

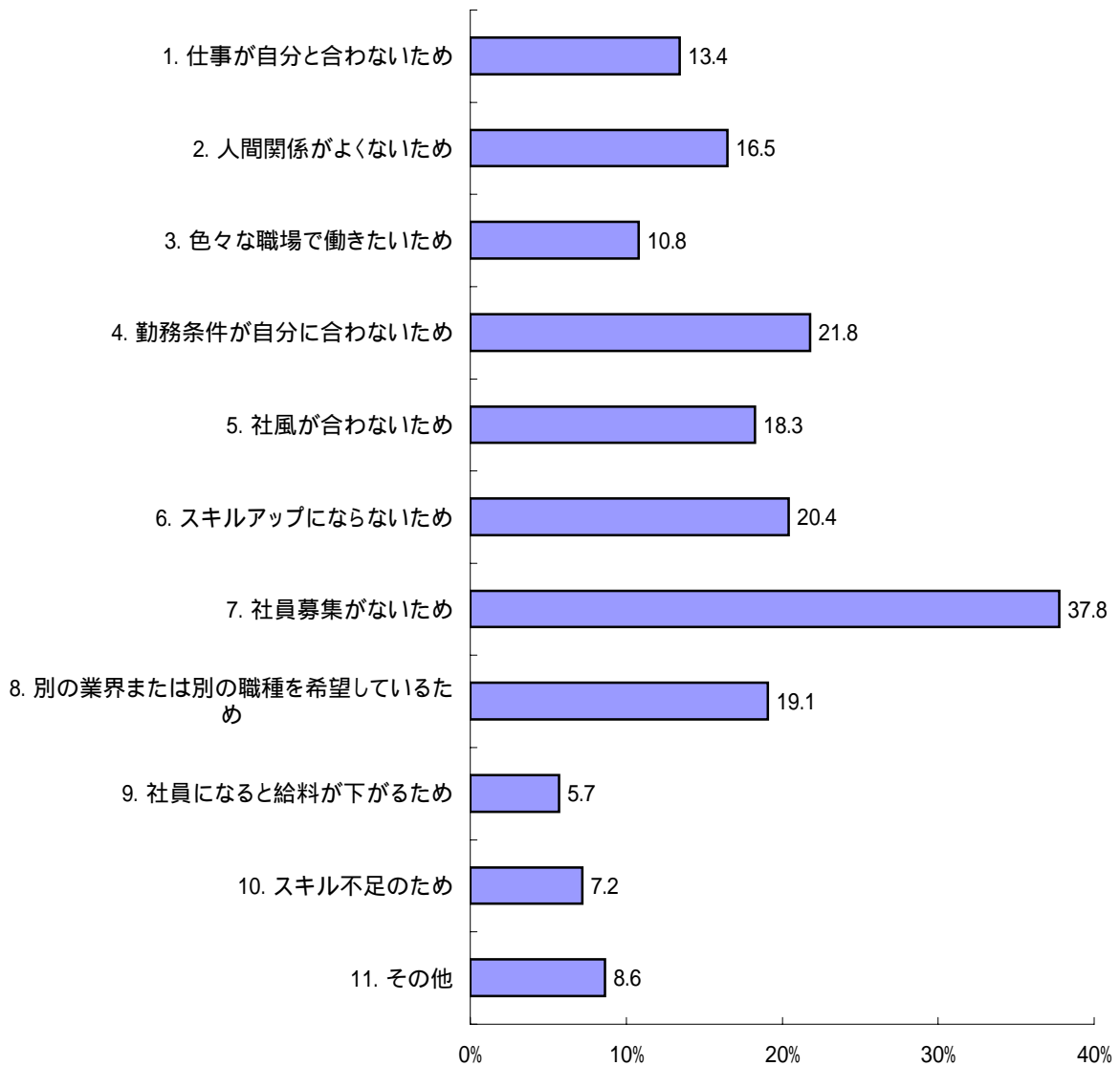


- (1) - a で 2. を選択した方のみお答えください。
 (1) - a - b : その理由をお答えください。(複数選択可)

「いいえ（現在または直近の就業先以外を希望）」と回答した者に、その理由について尋ねた結果、「社員募集がないため」が37.8%と最も多く、次いで「勤務条件が自分に合わないため」21.8%、「スキルアップにならないため」20.4%となっている。

「現在の就業先以外を希望する」と回答した者の理由についてみると、回答選択肢が多いこともあると思われるが、理由が分散している中で、唯一「社員募集がないため」との割合が他より高くなっている。

(MA) (n=4765)



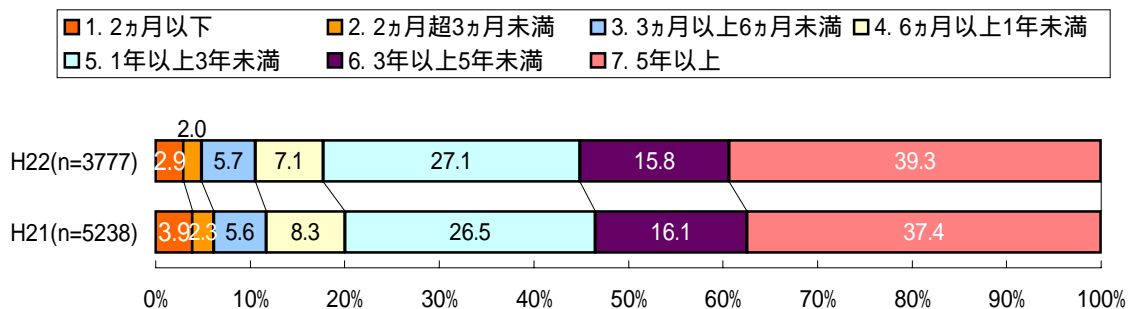
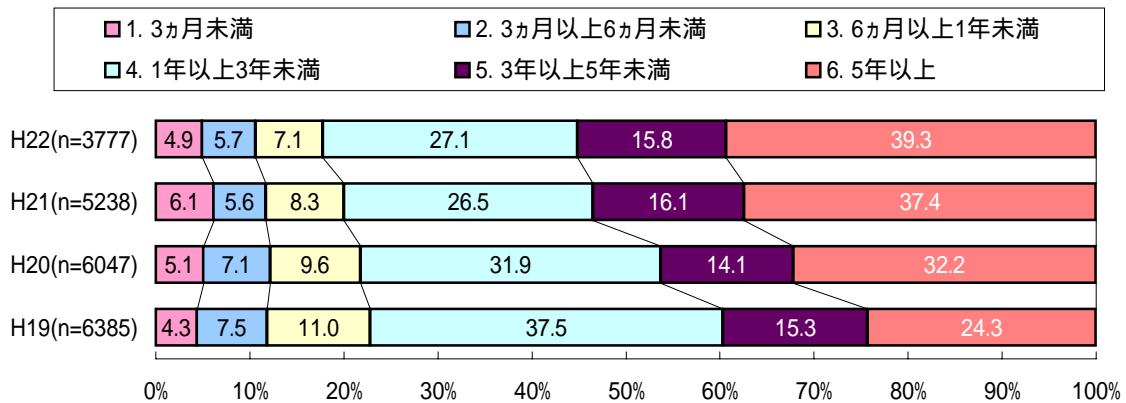
(1) で 1. 派遣 2. 紹介予定派遣を選択した方はお答えください。
 (1) - b : どのくらいの期間、派遣で働きたいと思いますか？ (トータルで)

今後の働き方の希望について「派遣」「紹介予定派遣」と回答した者に、派遣で働く期間についての希望を尋ねた結果、「5年以上」が39.3%と最も多く、次いで「1年以上3年未満」27.1%、「3年以上5年未満」15.8%となっている。

これを集約すると、「1年未満」が17.7%、「1年以上」が82.3%を占めており、「3年以上」でみると55.1%となる。

前年度と比べると、「5年以上」の割合が増加しており、長期に就業したいという希望がうかがえる。

また、「3ヵ月未満」を「2ヵ月以下」と「2ヵ月超3ヵ月未満」に分けて集計したところ、「2ヵ月以下」は2.9%、「2ヵ月超3ヵ月未満」は2.0%という結果となっている。



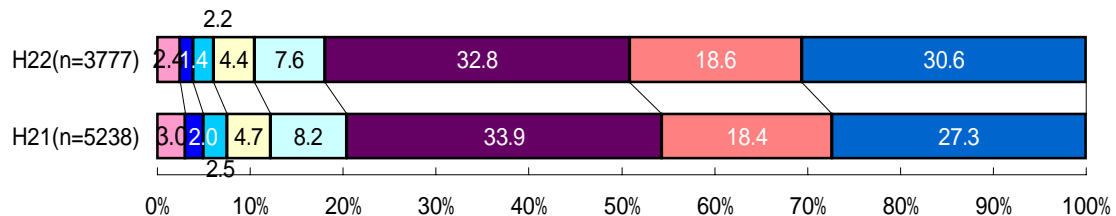
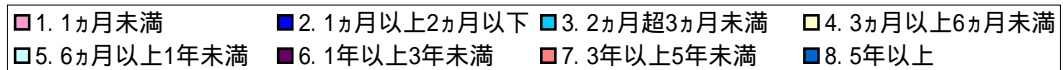
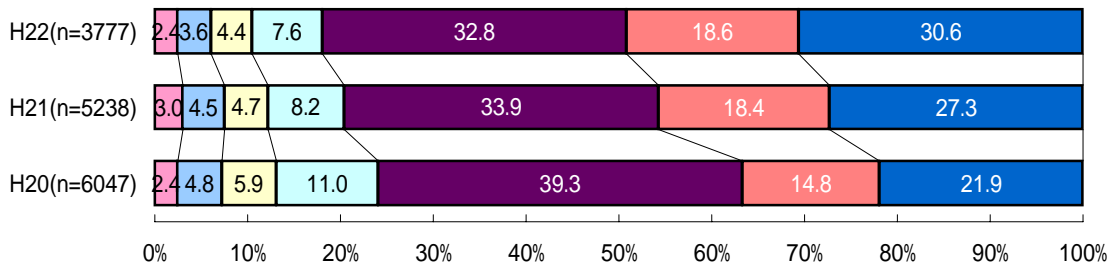
(1) - b - a : 同一の就業先では、どのくらいの期間、派遣で働きたいと思いますか？（トータルで）

今後の働き方の希望について「派遣」「紹介予定派遣」と回答した者に、同じ就業先でどのくらい派遣で働くことを希望するかを尋ねた結果、「1年以上3年未満」が32.8%と最も多く、次いで「5年以上」30.6%、「3年以上5年未満」18.6%となっている。

これを集約すると、1年未満が18.1%、1年以上が81.9%を占めており、3年以上でみると49.2%となっている。

前年度と比べると、3年以上が増加している（45.7%→49.2%[3.5%増]）。同一就業先で、長く働きたいとの希望者の割合が高くなっている。

また、「1ヵ月以上3ヵ月未満」を「1ヵ月以上2ヵ月以下」と「2ヵ月超3ヵ月未満」に分けて集計したところ、「1ヵ月以上2ヵ月以下」は1.4%、「2ヵ月超3ヵ月未満」は2.2%となっている。



(1) で 3. 契約社員 4. 正社員 5. パート・アルバイトを選択した方
はお答えください。

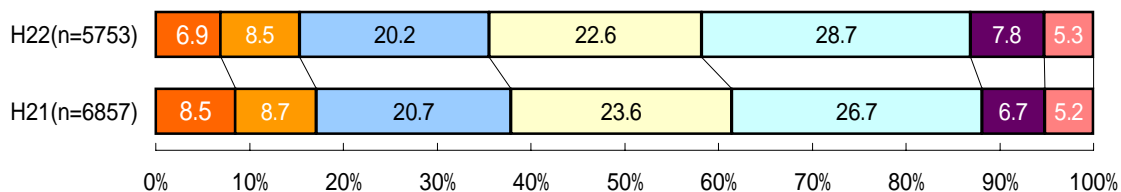
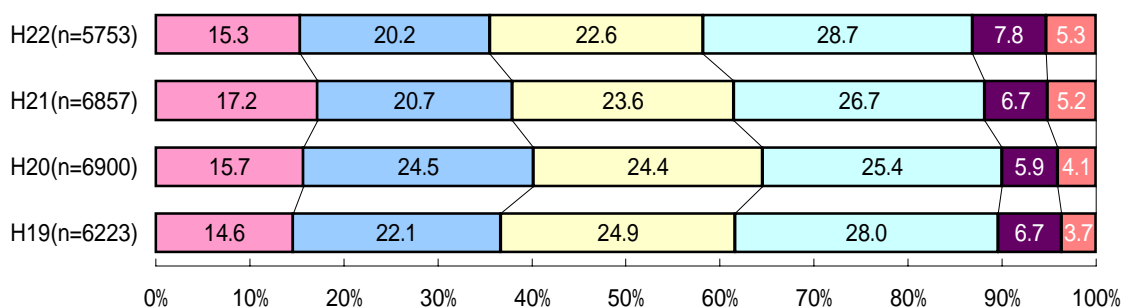
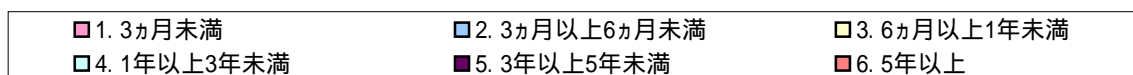
(1) - c : 希望する働き方に移行するまでの派遣で働ける期間として、適当と
考える期間はどのくらいですか？

今後の働き方の希望について「契約社員」「正社員」「パート・アルバイト」と回答した者に、希望する働き方に移行するまでの派遣で働ける期間として、適当と考える期間を尋ねた結果、「1年以上3年未満」が28.7%と最も多く、次いで「6ヵ月以上1年未満」22.6%、「3ヵ月以上6ヵ月未満」20.2%となっている。

前年度と比べると、「1年以上」が増えている。

これを集約すると、「6ヵ月未満」が35.6%、「6ヵ月以上」が64.4%となっており、「1年以上」でみると41.8%となっている。

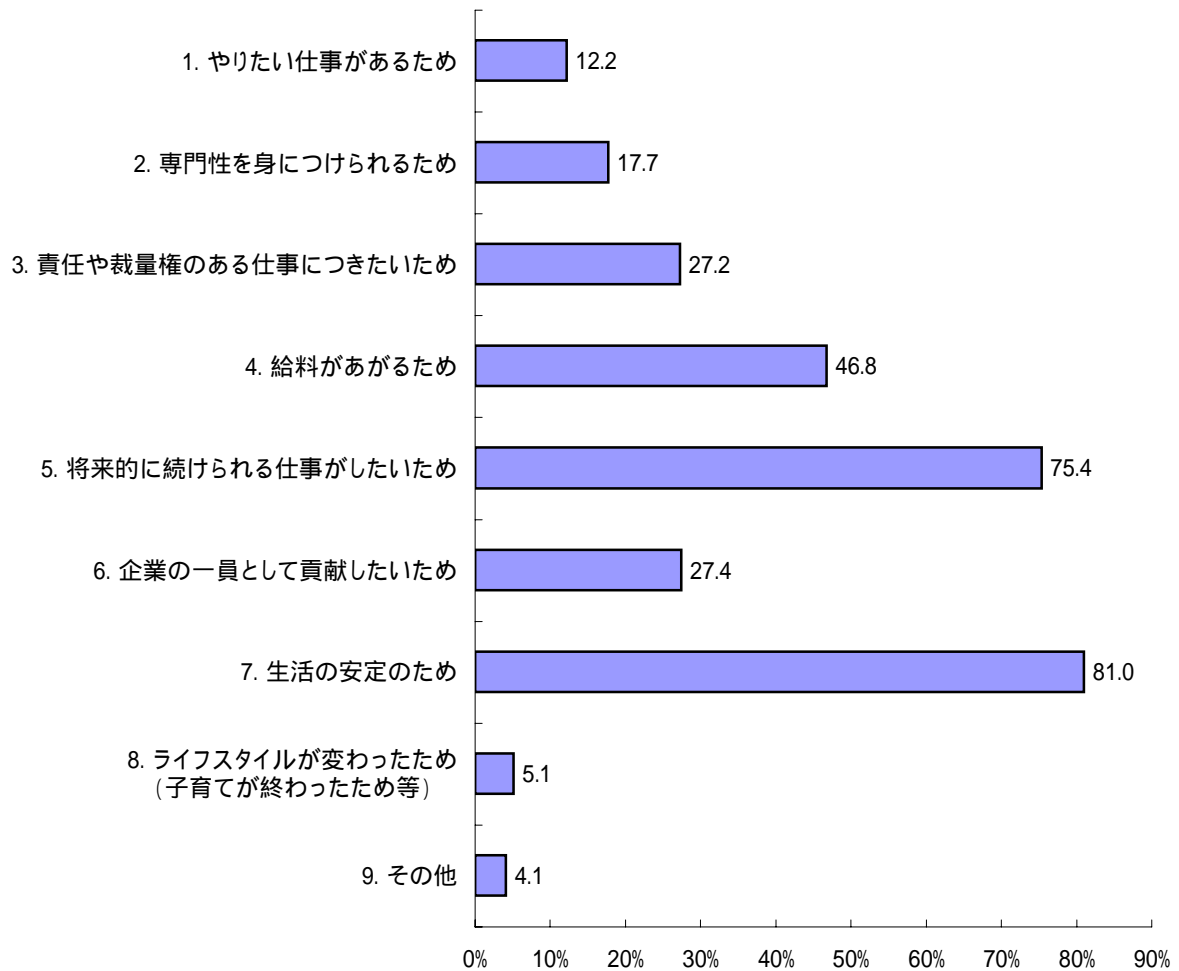
また、「3ヵ月未満」を「2ヵ月以下」と「2ヵ月超3ヵ月未満」に分けて集計したところ、「2ヵ月以下」は6.9%、「2ヵ月超3ヵ月未満」は8.5%という結果となっている。



- (1) で 4. 正社員を選択した方はお答えください。
(1) - d : なぜ、正社員を希望しますか？ (複数回答可)

今後の働き方の希望について「正社員」と回答した者に、正社員を希望する理由を尋ねた結果、「生活の安定のため」が81.0%と最も多く、次いで「将来的に続けられる仕事がしたいため」75.4%、「給料があがるため」46.8%となっている。

(MA) (n=4626)



「今後の働き方の希望」についての回答者を「性別・年齢・独身既婚別属性」で詳しく見ると、性別・年齢に関係なく「正社員」を希望する割合は総じて高くなっているものの、女性の「50歳以上」は「派遣」を希望する割合が高くなっている。また、男性では「19歳以下」を除いては「正社員」を希望する割合が高くなっているが、年齢が上がるにつれて、「派遣」を希望する割合が高くなっている。

<性別・年齢等属性別今後の働き方の希望>

今後の働き方の希望

		調査数 (n)	全 体	派 遣	紹 介 予 定 派 遣	契 約 社 員	正 社 員	パ ー ト ・ ア ル バ イ ト	自 営 ・ 独 立	働 く つ も り は な い
全体		10,210	100.0	26.4	10.6	6.6	45.3	4.5	6.0	0.7
女性全体		9,028	100.0	28.1	10.9	6.4	44.2	4.7	5.1	0.6
男性全体		1,182	100.0	14.0	7.6	7.6	53.8	2.8	13.0	1.1
女性 (年齢別)	19歳以下	10	100.0	30.0	-	-	40.0	20.0	10.0	-
	20～24歳	183	100.0	12.0	12.0	3.3	59.0	6.0	6.6	1.1
	25～29歳	1,362	100.0	25.0	11.4	6.8	47.9	4.5	4.3	0.2
	30～34歳	2,374	100.0	28.8	12.3	5.6	43.4	3.7	5.5	0.6
	35～39歳	2,353	100.0	28.1	11.6	5.4	45.5	3.7	5.2	0.6
	40～49歳	2,390	100.0	28.7	9.8	7.5	43.5	5.4	4.6	0.4
	50歳以上	356	100.0	38.8	3.1	12.4	23.3	12.6	6.7	3.1
男性 (年齢別)	19歳以下	5	100.0	20.0	-	20.0	20.0	40.0	-	-
	20～24歳	54	100.0	16.7	1.9	1.9	50.0	14.8	14.8	-
	25～29歳	152	100.0	8.6	5.9	3.9	62.5	1.3	16.4	1.3
	30～34歳	245	100.0	8.2	6.5	3.7	69.0	0.4	11.4	0.8
	35～39歳	196	100.0	9.7	14.3	3.6	58.2	1.5	12.8	-
	40～49歳	290	100.0	14.5	9.7	6.9	54.1	1.4	13.4	-
	50歳以上	240	100.0	25.8	3.3	19.2	30.4	5.4	12.1	3.8
独身(単身)		3,000	100.0	20.1	12.1	5.9	51.7	1.8	8.0	0.4
独身 (家族同居)		2,960	100.0	21.1	11.0	6.8	52.2	2.5	5.7	0.5
既婚		4,250	100.0	34.6	9.2	6.9	36.0	7.7	4.8	0.9

「今後の働き方の希望」についての回答者を「通算就業期間（Q2(9)）」で見ると、「派遣」を希望する回答者は通算就業期間に関係なく、平均的に分布している。一方、「正社員」を希望する回答者は通算就業期間が6ヵ月以上になると全体の構成比を超え、期間が長くなるとその割合が高くなっている。

<通算就業期間別今後の働き方の希望>

今後の働き方の希望

	調査数 (n)	全体	派遣	紹介予定派遣	契約社員	正社員	パート・アルバイト	自営・独立	働くつもりはない
全体	10,210	100.0	26.4	10.6	6.6	45.3	4.5	6.0	0.7
2ヵ月以下	1,574	100.0	27.7	9.0	5.1	38.1	10.7	9.0	0.6
2ヵ月超6ヵ月未満	1,484	100.0	25.7	10.5	7.9	44.7	3.9	6.7	0.7
6ヵ月以上1年未満	1,501	100.0	25.8	12.3	5.7	45.6	4.3	6.0	0.5
1年以上2年未満	1,649	100.0	25.8	11.4	7.8	46.1	3.5	5.0	0.5
2年以上3年未満	1,481	100.0	26.1	12.0	6.5	47.0	2.2	5.5	0.6
3年以上5年未満	1,369	100.0	25.9	10.1	6.6	48.6	3.7	4.2	0.9
5年以上	1,152	100.0	28.5	8.1	6.4	48.4	2.2	5.4	1.0

通算就業期間
P15 Q2(9)

「今後の働き方の希望」についての回答者を「業務の種類 (Q3(1))」でみると、全体では37.0% (「派遣と紹介予定派遣」) であるが、業務の種類によって変化がみられる。業務の種類が「26業務」の場合は37.5%、「26業務以外 (製造・軽作業除く)」の場合は37.3%、「製造・軽作業」の場合は25.9%となっている。

特に「製造・軽作業」の場合は「正社員」「パート・アルバイト」といった働き方を希望している比率が高くなっており、短期契約が多いことや賃金水準が低いことなどから、長期に生活が安定できる働き方を望んでいることがうかがえる。

<業務の種類別今後の働き方の希望>

	調査数 (n)	今後の働き方の希望							
		全体	派遣	紹介予定派遣	契約社員	パート・アルバイト	自営・独立	働くつもりはない	正社員
全体	10,210	100.0	26.4	10.6	6.6	4.5	6.0	0.7	45.3
26業務	7,061	100.0	26.6	10.9	6.5	2.9	5.6	0.6	46.8
26業務以外 (製造・軽作業除く)	2,723	100.0	27.0	10.3	7.1	7.6	6.7	0.7	40.7
製造・軽作業	426	100.0	20.0	5.9	5.4	10.1	7.7	1.4	49.5

業務の種類 (P27~28)

■派遣 ■紹介予定派遣 □契約社員 □パート・アルバイト ■自営・独立 □働くつもりはない ■正社員

